SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

十二月號　（第二十號）

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可　大正三年十二月一日發行（毎月一回一日發行）大正三年十一月二十八日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上

學力尋常小學卒業以上

品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前

入院診後應需

林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電話(本) 八八八八(病院用)

八九八(自宅用)

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

東洋内科醫院

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤

院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正四年度用

家計簿を兼ぬる新案日記

婦人日記

△中版上製總布金文字入頗美本
△定價卅八錢 郵税各地共八錢

豐富な附録一斑

各月の家庭行事 子女のしつけ
家計のとり方 しみぬき法
家庭の清娯 救急療法
女中の使ひ方 漬物のつけ方
贈答品の心得 訪問の心得
室内整頓と裝飾 時間の活用
日常の衛生 接客の心得
郵便案内 電信の栞
郵便爲替 郵便貯金
恩給年金受取方 貯金のすゝめ
食品分析表 家庭の重寶品
滿年算月表 年齡早見表

◁年中總菜獻立表▷

婦人日記の大特色

—△記事と會計とを同じ頁の中にひと目に分るやう手輕につけられる。
—△多端な家事をたやすく整理できる諸表そなはる。
—△附録は宛然家庭百科全書料理衛生萬事に事を缺かぬ。

大歡迎注文ぞく／＼

重要日記

紳士向徳用日記 定價四十錢 郵税内地八錢支那樺太十錢

△一冊の本書が十冊の手帳にまさる
△携帶頗る便利！

懷中ノート

日記を兼ぬる模範手帳
—内容外觀ともに類書に冠絶す—

△上製 △總布製ポケット型 △價廿六錢郵税各地二錢
△特製 △總革天金ポケット型 △定價卅錢郵税各地二錢

弊社發行日記類の共通特色

△體裁優美 △紙質精良 △製本堅緻 △記事豐富 △内容整備 △兩暦對照 △記入至便

◁價格至廉▷

東京南紺屋町 實業之日本社 振替東京三二六番

全國どこの書店でも取次ぎます

十二月號目次

口繪　いのりのこゝろ　夜美草
扉　しやくんたら姫
慈春の火定　高安月郊…(一)
生立の記を讀む　記者…(四)
茅原華山氏の婦人論を評す　八方醜婦…(五)
八百屋お七　島田筑波…(七)
短歌と俳句　諸家…(一九)
獨乙の產業發達と職業婦人　ミルス…(二一)
公益的婦人團　ウッド夫人…(二五)
日陰もの(小說)　山田きよ…(二五)
婦人の職業問題　佐治實然…(三一)
秋の夜、ひとり歌へる　坂本正雄…(三三)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

闇（小説）　早　厥…（三四）
男女の純潔を理想とする會の必要　西川光次郎…（三八）
池の主　中尾清太郎…（四〇）
日本婦人の將來　新渡戸稲造…（四一）
道德上男女の平等　浮田和民…（四一）
『生の悅こび』を讀む　西川文子…（四三）
手紙　玉露女…（四六）
婦人美容法研究に就て　（五〇）
海老名みや子夫人に示す書　（五一）
記者の手帳　（五三）
編輯餘錄　（五四）

十二月一日發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科
小兒科
（宅診午前 往診午後）
女醫 井出茂代
内藤新宿番衆町三一
電話番町三六七七番

リウマチス
▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の秘藥を御報らせします、御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます一週間分七十五錢送料四錢
東京市淺草觀音仲見世。天勇橫通
井筒屋油店
電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科
梅毒科
泌尿器科
腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患
生殖器科
男女生殖器機能障害
婦人科
診察時間
午前八時ヨリ十二時
午後四時ヨリ七時
日本橋區通二丁目白木屋出口前
ドクトルメヂチーネ
中島鎌太郎
電話本局三九八〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

太平生命保險株式會社

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇番

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　內野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫

取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎
監査役　潮田方藏
監査役　左右田信二郎
監査役　中田敬義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■平塚明氏新著＝反響叢書第二編出づ!!

評論集 現代と婦人の生活

□四六判三百頁
□定價八十五錢
□郵稅八錢

●本書は氏が「圓窓より」以後の感想を輯錄せるもの、社會問題並に思想問題として多年世界文明の懸案たる婦人解放の自由を絶叫せるものなり氏が深遠なる思索と强烈なる主張とは我國婦人生活の現狀に鑑みて味讀すべく傾聽すべし

教育宗教界の新暗示・婦人評論界の權威・生活改造の根本自覺

●キヰーとその母
●職業的婦人
●婦人問題の現狀
●エレン、ケイ女史
●「婦人解放論」
●民衆と政府と
●森田草平氏に
●赤城より
●兩親に
●「生活」記者に
●旅の七日間
●光を思ふ

大好評 小宮豐隆氏著

演劇評論

反響叢書第一編
四六判四百頁
定價壹圓
郵稅八錢

東京本郷元町二丁目二十五番地
日月社
振替東京二八九一四

大刷新の十二月號

講談倶楽部

灰屋三郎兵衛（新講談）……………大河内翠山

▽口繪豐富華麗……

▼伊豫の道後……雀軒

▽神力（活動寫眞）赤陽

▼遊女の怨靈（新講談）華陽

▽天晴才次（新講談）武田仰天子

▼風流拈り焼（新講談）岡柳惟一

▲花川戸助六（講談）坂東太郎

△銘刀助定（講談）猪波曉花

▲松山鏡（落語）楠柯樓一夢

△活動寫眞　吉山旭光

講談雜誌界の**親玉**……

正價二十五錢　郵税二錢半

十二冊前金二圓八十錢

友愛 **坂本城の夜**（新講談）……………米光關月

▼喜劇金まき……………中島鶯夢

▽戀の光秀（新講談）夢想兵衛

▼出家傳造（新講談）白山人

▽徳川家光……………洞殿司

▼民謠物語……………渚の人

▽挿畫漫畫豐富……

▲信州墓參の卷（浪花節）京山若丸

△羽衣新次（講談）玉龍齋貞陵

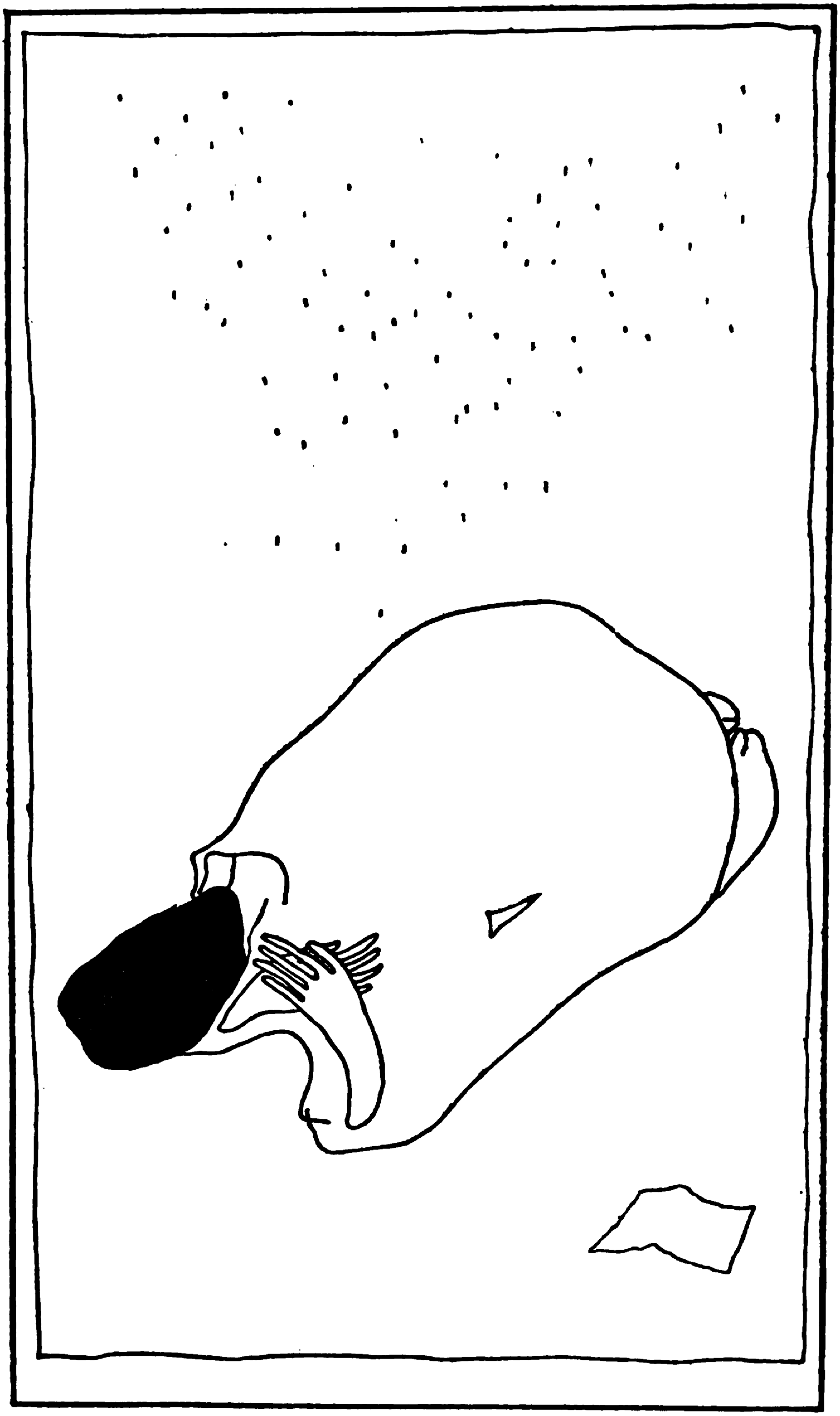
▲名僧一休（浪花節）三叟

△演藝評判記　落葉

三百圓の**大懸賞**募集

本郷團子坂　講談社　口座六六二九

探偵捜査居木橋事件……………故武東警視遺稿



いのりのこゝろ　　　夜栄草

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或る事情の爲め問題を惹起せしが
訂正を加へて愈發賣せらるゝに至れり

問題の著書
カフェー夜話

粹翰長 林田龜太郎著

定價 壹圓
送料 八錢

天下の粹人林田雲梯先生一代の快著、書中の美人論は東西の粹を聚めて花の如く四疊半裡低酌の興を想はしめ歐米の花柳界は戰爭の背後に横はれる文明の裏面消息を傳ふ、加ふるに先生獨特の都々逸、端唄、狂歌は錦上更に花を添へ之に配するに文學政治の論を以てす、若夫れ附錄とせる橋南隱女の起稿にかゝる「粹翰長樣」の一篇に至りては先生の半面を物語れる情緒纒綿たる一大艷物語にして人をして恍惚たらしむ、文明の裏面を知らんとする人。赤き歡樂の光にあこがるゝ人士來つて一讀を賜へ。

内容目次

通人論
美人論
美人を征服せよ
美人國の色別
歐洲美人の概觀
倫敦の女
巴里の女
巴里の公娼
伯林の花柳界

露西亞美人
露西亞風呂の話
土耳古風呂
便所のしやれ
美爪術練習生となる
伯林の女盜賊
太平洋船上より
劇界漫話
活動寫眞物語

笊碁と政客
飮む酒と味ふ酒
料理通
仁人一茶の句
常陸山と決鬪を約す
彼の研究
海水浴と浴衣
雲の趣味
天下の女中

獨身美人十五萬人
米國家庭の表裏
ちんかも料理
御祝儀
漢法醫と西洋醫
不老不死の妙話
タキシンド

○粹翰長樣○雲梯集（都々逸、端唄、長唄其他）

發行所 東京市本郷四丁目 振替東京二六〇六五 北村書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

類書中の模範として實に

天下一品のみ

既婚未婚男女幾百萬人の必讀書

醫學博士永井潛先生序　醫學士杉江董先生　性慾學者澤田順次郎先生合著

人體解剖と兩性の研究

最新刊

實物寫眞木版
七十餘圖挿入
懷中持新式菊判組總布製金文字入天金頗極美高尚天下の逸品價二圓
特價壹圓參拾錢
送料密封十二錢海外卅錢

本書は數年來各先生苦心の結果漸く發刊するに至れり男女外部の差及び内部の差、男女發情期の變化及び破期の變化、毛と月經、月經と發情期の關係、月經早見表、月經と妊娠の起こる時期、月經中に於ける色情、貧富の關係、月經の終止期、男女骨盤と各人種、指の進化に於ける矛盾、臀の形態、異狀骨盤の危險、腿の向き方、脂肪過多の原因及び生殖、體形の變化と生殖、接の甲狀線に及ぼす影響、男女尿道の構造及び作用、毛に關する民俗の習慣、人體不要の器官等外數百種尙解剖等の密圖を挿入し興味深く何人にも了解し易き一般の必讀書なり。

本郷醫院長前澤賢一郎先生　東北帝國大學醫學専門部醫學士池田傳三郎先生　性慾學者澤田順次郎先生合著

生殖器の解剖と妊娠論

實物寫眞木版
七十餘圖挿入
懷中持　新式菊判組約五百廿頁總布極美金文字入天金價二圓
特價壹圓卅錢
送料密封十錢海外三十錢

生殖書は少からざれ共概ね讀むに足らざる物殊に多し弊堂各專門の先生に乞ひ男女生殖器の構造機能等詳細に解剖し生理、病理、妊娠、人工妊娠、避妊、花柳病豫防其療法姻婚の注意等何人にも解し易く七十餘の密圖を挿入し興味深く著述したる良書なれば男女幾百萬人の必讀書

理學博士　石川千代松先生序
性慾學者　澤田順次郎先生著

生殖左右論

懷中持總布製金文字入天金新装美本正價四十五錢送料六錢

東京神田區五軒町十八　有文堂書店　電話下谷二四五二番　振替東京二三七番

初版即日賣切再版出來

縮刷合本

夢二画集

美裝箱入

定價八拾五錢

定料八錢

春夏秋冬四册原版皆磨滅す著者發憤新に毫を揮つて此新版を完成す夢二一式の神髓精華凝集結晶して此縮刷合本一卷の中に在り

東京市麹町區平河町五丁目

振替口座東京二〇九一四番

洛陽堂

電話番町四二五八

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戰爭と家庭教育

大日本通信高等女學校

●高等女學校の卒業證書は嫁入道具

本校は其卒業證書を諸孃へ授與す。父母の膝下にて家事の傍ら僅少の學費と短日月に自宅にて居住の儘登校の面倒なくして卒業せしめ卒業生には卒業證を授與し在學生に徽章を佩用せしむ。文部省高等女學校に準據するは勿論資格と實力を與へ良妻賢母を養成す。女子の學校生活には種々の危險と弊害との伴ふを免れず又種々の事情にて家庭を離れる能はざる諸孃は速に來りて本校の門に學び光明の端緒を開き幸福を得よ

總長 持明院子爵　校長 四元學士　學監 神戸博士　顧問 下田學士　教頭井川學士教授高等師範卒業雨宮みつ子外卅名

新學期開講紀念として入學金全免の外月謝免除あり

校則見本つき申込次第無料進呈

天下千萬の諸孃が一生幸福に出世せんとせば本校に宛て（はかき）下さらば本誌の愛讀者に限り右諸先生の責任ある出世案内校則雜誌を無料進呈す

東京本郷新花町
大日本通信高等女學校
電話下谷二三九五番
振替二四六二二番

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院
中原病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號
東京衛生園 產婆看護婦部
電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地
產婆部 大崎支局

■大正文庫■

明治昭代の榮光を記念し大正聖世の文教に貢獻せむがために現代第一流の宗教家學者文藝家を煩はして『大正文庫』を發行し今や全部十二册こゝに完成す外形は電車汽車中の携帶に便に内容は處世修養の好伴侶に好し

第一編　三宅雪嶺先生著　明治思想小史　定價五十錢　郵税六錢

第二編　沼波瓊音先生著　此一筋　定價七十錢　郵税八錢

第三編　高島米峰先生編　來世の有無　定價七十錢　郵税八錢

第四編　大内青巒先生著　禪の極致　定價六十錢　郵税八錢

第五編　黒岩周六先生著　予が婦人觀　定價六十錢　郵税八錢

第六編　釋清潭先生著　狐禪狸詩　定價六十錢　郵税八錢

第七編　高島米峰先生著　噴火口　定價八十錢　郵税八錢

第八編　杉村楚人冠先生著　ひとみの旅　定價六十錢　郵税八錢

第九編　加藤咄堂先生著　書窓車窓　定價六十錢　郵税八錢

第十編　堺利彦先生譯　人と超人　定價九十錢　郵税八錢

第十一編　村上専精先生著　六十一年　定價九十錢　郵税八錢

第十二編　内田魯庵先生著　沈默の饒舌　定價八十錢　郵税八錢

東京小石川區原町　貯東京一五六八六　丙午出版社

東京小石川原町　貯東京一三五三　鷄聲堂

西川文子著

婦人解放論

定價一圓
郵税四錢

高野重三著

婦人問題早わかり

定價七十錢
郵税四錢

新眞婦人合本（自第一號至第十二號）

送料共一圓

西川光次郎編輯

自働道話

平易簡明に新道德を說く小雜誌

一部郵税共
一錢五厘
一年十八錢

其他本誌に廣告の書籍、取次販賣致します

東京本郷區駒込林町二〇六

新眞婦人社

振替二四五五六

株式會社 東海銀行

日本橋呉服町 本店
日本橋堀江町 堀江町支店
本郷三丁目 本郷支店
赤坂田町 赤坂支店
本所龜澤町 本所支店
京橋尾張町 京橋支店
芝三田一丁目 三田支店
淺草並木町 淺草支店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■大正四年日記——日記中の日記。最も高尚にして最も趣味に饒む

—1915—

吾家の歴史

形も小さく、携帯には至極便利です。

大形		小形	
特製 四六判惣折革 天金聖書形 ■定價一圓拾錢（郵税八錢）	並製 四六判總布製 紙質精撰極上 ■定價五拾錢（郵税八錢）	特製 菊半截判總革 天金聖書形 ■定價一圓（郵税八錢）	並製 菊半截判布製 紙質純良精撰 ■定價四拾錢（郵税八錢）

大形は様式を極めて**自由無制限**にいたし、小形は特に「往來」「爲したる事」「得たる思想」「社會の出來事」「雜記」の五欄を設けて記事の内容は一目瞭然、看取することが出來ます。附錄の完備は今更ら申すまでもありません。

婦人の典型

成瀬仁藏先生序

（四六判總洋布製 挿入寫眞版十個）

定價壹圓 郵税金八錢

原著 アリス・コークラン

林靜太先生譯

内容

「賢母」篇
「良妻」篇
聖アウ・ガスチンの母モニカ
(1)グラッドストーンの妻
(2)ベコンスフキールド伯夫人
(3)ミルの「エゼリア」
(4)「救世軍の母」ブース大將夫人
(5)ラジユムの發見者キユリー夫人

「模範の少女」篇
理想郷の著者マガレット・ローパー

「姉妹の愛」篇
(1)大天文學者の妹カロリン・ハーシエル
(2)詩人ウォーズウオース兄妹
(3)ルナンの姉
(4)ユウゲニー・ド・ゲリン

發兌 東京京橋尾張町 **警醒社書店** 振替東京五五三番

▼見よ!! 時代要求の珍書出でたり好評嘖々

（左の五書直接御注文の方へは世界の大戦一部呈上す）

前判事法學士 莊田要二郎先生序
眞新婦人主筆 西川文子女史序
醫學士 佐々木金二郎先生序

新刊 産兒制限論

ドクトル 鈴木燕先生閲
日本藥學協會主幹 鴨田脩治先生著

本書之を説くこと簡にして要を得、略にして疎ならず本邦とする人は勿論母體の保護と而して遺傳の恐るべきを知らんとする人には是非一讀あれ。

●少く産みて多く教育せよとは産兒制限論の主眼なり、貧窮人の子澤山は子の爲めに益々貧窮に苦む、戦慄すべき墮胎非はめ何んの爲めに起るか、薄幸なる私生兒の増殖するは何故なりや、今や生活難の聲は世界の隅から隅まで反響し、避姙法の研究は既に實行期に入りて成績顯著、於ける現下唯一の珍本なり、乞ふ健兒を得ん

洋裝金文字入美本 正價壹圓 總クロース 送料金拾八錢

新刊 整形隆鼻法

ドクトル下田良敬序 藥學協會主幹鴨田脩治著
洋綴美本 價四十錢
附病鼻療法送料免ず

鼻の低き人形の惡き人

る療法又は矯正せば容易に高くなり獅子鼻團子鼻煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり
は勿論醫者も見よ本書の指示せ

三版 近視眼矯正及豫防法

醫學士高岡先生閲 鴨田脩治著眼球解剖寫眞圖入り
洋綴金文字入美本 正價金四十錢

●今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは恐なり恐れざるも亦恐なり其理審かに本書にあり。既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患ひなきものは一日も早く本書を讀みて未然に防ぐことを怠る勿れ。

第四版 どもり矯正法

陸軍教授西村聖序 鴨田脩治著
洋綴金文字入美本 價金四十錢

●本書は墺國醫學博士コォン氏のドモリ矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯せば如何に『ヒドキ』ドモリの人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也

第拾版 長身肥滿法

陸軍砲兵曹長與藤久登著
郵券廿五錢送附あれば直ちに送本す

せの低き人 やせたる人

本書に依る時は高くなる
病後産後其他生れ付の人にても忽に肉付强健となる不思議の療法なり短軀又は痩て悲觀せる方は一讀あれ。

發行所 東京市本郷區丸山福山町四番地 日本藥學協會

新眞婦人愛讀者には送料免除す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人

第二十號

シヤクンタラ姫

佐藤朝山氏作

慧春の火定

高安月郊

慧春は相模糟谷で藤原氏の娘と生まれた美人である。しかも空しく三十を過ぎて、兄の了庵慧明の最乘寺を叩き、度を求めた。其理由は、「俗に處する意無し」としてある。兄が時の名僧になる位、宗教的傾向は遺傳にか、周圍にか、幾分かあつたかも知れぬが、女性で、美貌で、其本能も、特色も捨てやうとしたには、秘密の心理があつたであらう。兄も流石に許さなかつた「出家は大丈夫の事ぢや、女子供に立てられるものか。」

彼は暫く默つてゐた。

忽ち火鉢に赤くなつてゐた火箸を取つて其美顏に當てた。

了庵も負けて其美髮に剃刀を當てた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しかし髪は無くなつても美はあつた、疵はついても色はあつた。彼の理智は舌を砥いで向ふ者を破つたが、他の情は文字と凝つて衣の袖に投入れた同宿があつた。或日了菴上堂して一山の大衆澗の樣に謹聽する。慧春忽ち立上つた、衣を脱いだ、一糸もつけず、彼文の主を呼んで、「さあ！」

大衆の顏！　師の顏！　かの僧は飛上つて、裏の山へ逃込んだ。

彼は攝取菴を山下に立て、往來の衆人を接待した。

一日最乘寺の山門の前の磐石の上に薪を積んだ。彼自其上に坐つた。彼自火をつけた。

兄は來て「熱いか、熱いか」

「熱いか冷たいか生道心に分ら……………」

あとは火。

昔の宗敎の誤解か、不徹底の過か、不滿の本能の破裂か。一詩を作つて其苦惱を代表してやるのは空しくなつた美にも亦生を與へる藝術の情である。

慧春

水も空し。
土も空し。
木も空し、草も空し。
花も空し、鳥も空し。
魚も空し、蟲も空し。
獸も空し、人も空し。
雲も空し、月も空し。
日も空し、空も空し。
佛も空し？
法も空し？
我も空し？

我を生みし人はいづく？
我は元生まれもせず。
我と遊びし人いづく？
我はいつも獨。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我を戀ひし人いづく？
彼も亦空し！
空しく我を戀ひて、
空しき思寄せしが、
一切空しと說くむしろに、
空しき頭寄る中、
空しき衣脫ぎ捨て、
「是什麼」と招けば、
總身耻に燒けて、
逃げて林に隱れつ！
戀とはそもそれか。
耻にだに若かず！
耻は死よりつらき？
死は戀より易き？
戀も亦空し？
死も亦空し？
空しからぬは無きか？
空しきあとより湧くは？

水は水を追ふ！
花は花に積もる！
月は欠けて滿つる！
日は落ちて出づる！
空は空しくて蒼し！
我は空しくて我？
我は尙我か？
其我を捨てつ！
尙湧くは何？
身は早く捨てつ！
身の外の心？
其心捨てつ？
心の外に何？
其何を燒けや！
燒けて尙殘る
物有りや、はた無しや、
有無も無きさびしさ！
其寂を燒けや。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いざ放て火！
あゝ立つや炎！
木燃ゆる！　草燃ゆる！
花燃ゆる！　土燃ゆる！
雲燃ゆる！　風燃ゆる！
月燃ゆる！　日燃ゆる！
父燃ゆる！　母燃ゆる！
同胞燃ゆる！友燃ゆる！
戀燃ゆる！　佛燃ゆる！
身燃ゆる！　心燃ゆる！
生燃ゆる！　死燃ゆる！
我燃ゆる！　無我燃ゆる！
無燃ゆる!!　有燃ゆる!!!
呵々々々々々々々々々々々

▲生ひ立ちの記

（内藤千代子著）生ひ立ちの記と云つても文學に志すに至つた系統として、少しの生ひ立ちがかいてある丈で主としては著者とK先生、寧ろK先生の著者に對しての戀物語を書いたものである。著者も先生を敬慕しては居たが「處女主義」處女の誇りを傷つけまいと云ふ自我に囚はれてゐてどうする事も出來ない敵同志の戀愛の樣に、つまり著者には戀愛と名づける樣なものが起らなかつたので。其の中に先生の死に至るのである。以前からの「處女主義」で獨身で居るのを、他人は死者、故人に對しての節操と誤解して居るが、決してさうではない、やはり自我に對する意地一つであるが、年と共にそれを裏切る一種の謀叛がそゞろに寂莫を感じさせ不覺の涙を流す心理作用もよくかいてある。あまり筆が輕妙な爲めに、深い心底からかいたものゝ樣な深刻な感じを讀者に與へないで唯器用な才筆としか見られないのは惜しいが、それは年の然らしむる處だとも思はれる、何しろ十五歳になるかならぬにかいた處女作の小説が懸賞の選に入つたり十七八歳からスキートホームやホーネームン、エンゲーゲを書いて盛んに女學生の好奇心を引いた、著者の早熟には驚かされると共に、成程と首肯さるゝ個處も多くある。若い人達には興味深いものに相違ない（定價七拾錢本鄕四丁目牧民社）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ツ當り

茅原華山氏の婦人論を評す

（本欄の言説に付ては本社其責に任ぜず）

八方醜婦

此頃茅原華山と申さるゝ思想家、論客が起られて、其の該博なる智識と、光彩ある文章と、又奇拔なる言ひ振りを以つて、新聞雜誌に、演説講話に、絶えず其意見を世間に發表されて居られますが、其の活氣に滿ちたる言説は不尠或る一部の青年男女の間には其の渇仰の的となつて居るさうです。平凡に流れ、沈滯し易き我思想界には、同氏の言論の如きは確かに一服の清涼劑たるの値打があらうと思ひます。私は不幸にして未だ同氏に御懇意となるの榮を得ませぬ。故に親しく其人に接して其人を知るの機會に遇ひませぬから、同氏の人格に就いて熟知して居ない爲め、同氏の議論を批評致すのに頗る不便を感ずるのであります。尤も恩怨兩ながらありませぬ爲め、却て稍々公平なる批評が出來るかも知れませぬ。

先頃同氏が中央公論でありましたか、此度の歐洲戰爭の事を論ぜられました時、同氏の直話として、其雜誌の連中は、若し今度の戰爭に關し、同氏以上の議論の出來る人が萬一あつたら、切腹してもよいと廣言して居られましたとか言ひ觸らしました。之れは單に同雜誌の商略に過ぎない一種の浮言であらうと思はれます。なぜなれば、果して同氏がソンナ事を實際云はれたとすれば、同氏は誠に稚氣滿々たる人だと評せなければならぬからであります。

それに十月十五日號の婦人評論に「死の生活か、戰の生活か」と云ふ奇拔なる題目で同氏一流の婦人論が掲載されて居ますが、冒頭に於て「ダーキンやニイチエやマリネツチ等に聞く迄もなく」とか「私は今此等のことをワイニンゲルの説に依つて説いて居るのではなく」など特更に斷つて居られますが、壹部の定價拾錢の何々叢書など散讀した連中がよくこんなことを云ひたがるのです。甚だ失禮ながら、博學多識の評ある同氏の如きはこんな素人おどかしの様な、博學多識を衒ふが如く見ゆる態度は以來お止めになつた方が御利益かも知れませぬ。

さて、これから甚だ未熟ではありますが、前陳の同氏の婦人論の批評を試みたいと思ひます。先づ大體に於て、同氏は博學多識でありながら、其論據を科學や史學に置かずして、單に常識によつて萬事を論斷さるゝ傾があるやうに見えます。故に表面は一寸科學者でも云ひさうなことを云つて居られて、實際は常識論であります。先づ御自身の主張を豫め定めて置いて、次に之れを辯護するに都合のよい色々の科學や歷史の事實をアチラ、コチラより勝手に拾ひ集められしが如き觀があります。即はち同氏の論法は歸納的でなくて演繹的であります。從うて臆斷的になり易いのであります。かゝる論法が果してよいものか惡るいものかは別として、間々頗る滑稽に陷入る事があるのであります。譬へば「女子が敗北者であつた」の項目の内に、男子と女子を人間と犬に比して居られます。男子と女子は男女の相違こそあれ、人間には相違ありませぬ。同じ種屬に屬して居るものであります。然るに人間と犬とは全然種屬の異つたものであります。男女の相違こそあれ、同じ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いざ放て火！
あゝ立つや炎！
木燃ゆる！　草燃ゆる！
花燃ゆる！　土燃ゆる！
雲燃ゆる！　風燃ゆる！
月燃ゆる！　日燃ゆる！
父燃ゆる！　母燃ゆる！
同胞燃ゆる！友燃ゆる！
戀燃ゆる！　佛燃ゆる！
身燃ゆる！　心燃ゆる！
生燃ゆる！　死燃ゆる！
我燃ゆる！　無我燃ゆる！
無燃ゆる!!　有燃ゆる!!!
呵々々々々々々々々々々々

▲**生ひ立ちの記**（内藤千代子著）生ひ立ちの記と云つても文學に志すに至つた系統として、少しの生ひ立ちがかいてある丈で主としては著者とK先生、寧ろK先生の著者に對しての戀物語を書いたものである。著者も先生を敬慕しては居たが「處女主義」處女の誇りを傷つけまいと云ふ自我に囚はれてゐてどうする事も出來ない敵同志の戀愛の樣に、つまり著者には戀愛と名づける樣なものが起らなかつたので。其の中に先生の死に至るのである。以前からの「處女主義」で獨身で居るのを、他人は死者、故人に對しての節操と誤解して居るが、決してさうではない、やはり自我に對する意地一つであるが、年と共にそれを裏切る一種の謀叛がそゞろに寂莫を感じさせ不覺の涙を流す心理作用もよくかいてある。あまり筆が輕妙な爲めに、深い心底からかいたものゝ樣な深刻な感じを讀者に與へないで唯器用な才筆としか見られないのは惜しいが、それは年の然らしむる處だとも思はれる、何しろ十五歳になるかならぬにかいた處女作の小說が懸賞の選に入つたり十七八歳からスキートホームやホーネームン、エンゲーヂを書いて盛んに女學生の好奇心を引いた、著者の早熟には驚かされると共に、成程と首肯さるゝ個處も多くある。若い人達には興味深いものに相違ない（定價七拾錢本郷四丁目牧民社）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ッ當り

八方醜婦

（本欄の言說に付ては本社其責に任ぜず）

茅原華山氏の婦人論を評す

此頃茅原華山と申さるゝ思想家、論客が起られて、其の該博なる智識と、光彩ある文章と、又奇拔なる言ひ振りを以つて、新聞雜誌に、演說講話に、絕えず其意見を世間に發表されて居られますが、其の活氣に滿ちたる言說は不尠或る一部の青年男女の間には其の渴仰の的となつて居るさうです。平凡に流れ、沈滯し易き我思想界には、同氏の言論の如きは確かに一服の淸凉劑たるの値打があらうと思ひます。私は不幸にして未だ同氏に御懇意となるの榮を得ませぬ。故に親しく其人に接して其人を知るの機會に遇ひませぬから、同氏の人格に就いて熟知して居ない爲め、同氏の議論を批評致すのに頗る不便を感ずるのであります。尤も恩怨兩ながらありませぬ爲め、却て稍々公平なる批評が出來るかも知れませぬ。

先頃同氏が中央公論でありましたか、此度の歐洲戰爭の事を論ぜられました時、同氏の直話として、其雜誌の連中は、若し今度の戰爭に關し、同氏以上の議論の出來る人が萬一あつたら、切腹してもよいと廣言して居られましたとか言ひ觸らしました。之れは單に同雜誌の商略に過ぎない一種の浮言であらうと思はれます。なぜなれば、果して同氏がソンナ事を實際云はれたとすれば、同氏は誠に稚氣滿々たる人だと評せなければならぬからであります。

それに十月十五日號の婦人評論に「死の生活か、戰の生活か」と云ふ奇拔なる題目で同氏一流の婦人論が揭載されて居ますが、冒頭に於て「ダーキンやニイチエやマリネッチ等に聞く迄もなく」とか「私は今此等のことをワイニンゲルの說に依つて說いて居るのではなく」など特更に斷つて居られますが、壹部の定價拾錢の何々叢書など散讀した連中がよくこんなことを云ひたがるのです。甚だ失禮ながら、博學多識の評ある同氏の如きはこんな素人おどかしの樣な、博學多識を衒ふが如く見ゆる態度は以來お止めになつた方が御利益かも知れませぬ。

さて、これから甚だ未熟ではありますが、前陳の同氏の婦人論の批評を試みたいと思ひます。先づ大體に於て、同氏は博學多識でありながら、其論據を科學や史學に置かずして、單に常識によつて萬事を論斷さるゝ傾があるやうに見えます。故に表面は一寸科學者でも云ひさうなことを云つて居られて、實際は常識論であります。先づ御自身の主張を豫め定めて置いて、次に之れを辯護するに都合のよい色々の科學や歷史の事實をアチラ、コチラより勝手に拾ひ集められしが如き觀があります。卽はち同氏の論法は歸納的でなくて演繹的であります。從うて臆斷的になり易いのであります。かゝる論法が果してよいものか惡るいものかは別として、間々頗る滑稽に陷入る事があるのであります。譬へば「女子が敗北者であつた」の項目の內に、男子と女子を人間と犬に比して居られます。男子と女子は男女の相違こそあれ、人間には相違ありませぬ。同じ種屬に屬して居るものであります。然るに人間と犬とは全然種屬の異つたものであります。男女の相違こそあれ、同じ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人間の種屬に屬して居る男女を、全然種屬の異つた人間と犬とに比較すれば、其結論も途方もない事になるのは當り前で、論理學の一ページでも讀んだものは決してせぬ事であります。それとも同氏は私共女子を犬だと思つて居らるゝのでせうか。博識なる茅原氏に不似合な事であります。「弘法も筆の誤り」とはこんなことを云ふのでありませう。

同氏は又同じ論法から「同樣に、女子が男子と同等たり得る、又は男子を凌駕し得る可能性を有つて居るとか、本來から言へば男女間に優劣はないとか云ふ議論は、現在に於ける女子の劣弱なる地位を辯護する上に何等の効力をも有して居ない」と云つて居られますが、一寸尤の樣に聞えます。併かし御伺致しますが、茅原氏も今日でこそ我國の一大論客と御自身も信じて居られますでせうし、世間も亦たさう許しては居ませうが、同氏の幼少の時はドーでした。確かに後世畏る可き今日の茅原氏に生長する丈の可能性は有つて居られたでせうし、又それが深き教育と廣き經驗を積んで今日の同氏を成したのでありますまいか。果して然らば幼少の時に今日の同氏を成す丈の可能性を有して居られたと申すに何が差支がありませう。其の可能性が何故に幼少の時は失禮ながら「劣弱なる地位」を辯護する上に何等の効力もないのでせうか。

更に同氏は歴史上男子は優勝者であり、女子は劣敗者であるの證據として釋迦や孔子や、基督や其他の三十人程の男子の英雄豪傑其他の名前を擧げて、之れに對して一人の世界的に有名なる女子はないではないかと、ソレハ〳〵、エライ權幕で云つて居られますが、之れは前陳のワイニンゲルや、又ショウペンハウエルや、其他婦人論に反對の男子方のよく唱へらるゝ議論でありますが、女子を壓制で以つて男子方と同樣なる機會も訓練も與へずして置いて、而かも常に家庭に押込めて一向世間も見させずにして置いて、男子方と同じ樣なエライものになれぬから、女子はダメだと云ふのは無理であります。男子方を女子と同樣の境遇に置いて御覽なさい、結果は女子と餘り異りは致しますまい。先づ以て女子にも男子方と同樣なる機會と訓練を與へ、而して之れに假すに相當の年月を以つてして後、女子はダメならダメだと斷定なさるゝのが順序ではありますまいか。何にも是等の手段を採らずして置て、單に女子はダメだと主張なさるゝのは毫も取るに足らざる議論であります。常に土中に置かれて居る土臺石の屋根の上に見えぬからダメだと云ふと何の差違がありませう。それに面白い事は同氏の擧げられたる二ダース半の世界的の人物中不思議にも我日本人の名前は一人も擧げてないのはドー云ふものでせう。マサカ同氏が謙遜して之れを擧げなさらなかつたのではありますまい。同氏はソンナ謙遜な柄の方でもなささうですから。之れは全く同氏の列擧の世界的人物に比す可き程の人物が、未だ殘念ながら我國に輩出せないからでせう。果して然らば何故にソンナ人物が我國に出なかつたのでせう。其最大原因の一は確かに我國が地勢上東洋の一隅に孤立して居て、永く世界文明の空氣に觸れなかつたからです。それ共同氏は日本人は西洋人に比し人間に對する犬と同樣に、先天的劣等の人種であつて、如何に西洋人と同じ境遇に置き、同じ機會と訓練を與へても、到底世界的人物を輩出するの見込のない人種だと覺悟して居らるゝのでせうか。

尚更に同氏は女子の今日の不幸なる地位に居るは、從來の境遇や男子方の横暴に多く起因すると云ふ議論に對して、「偉大なる靈魂は境遇や壓迫位で毫も傷けらるゝもので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない。常に一切の外的壓力を突破して、爆發するものである」と書生さん方の討論會などでよく聞くやうな事を云つて居られます。屢々同氏を引合に出して恐入りますが、假に同氏をして我日本に生長せしめず、幼少の頃から南洋の一孤島に食人種か何かと一緒に生長せしめたと想像して、同氏の偉大なる靈魂は其境遇や壓迫に毫も傷けられず、常に一切の外的壓力を突破して爆發し、而して今日の茅原氏たる一大思想家、一大論客を成したでありませうか。議論はドーデも勝手に出來るものです。如何なる立派な思想でも事實に基かざるものは案外威嚴のないものであります。同氏にして因襲の久しき、固陋なる男子全盛時代の夢より醒めて「暫らく頭腦を冷かにして顧みられたならば」蓋し思ひ半ばに過ぐるものがあらうと信ずるのであります。

而して同氏は「世界はいよ〱男子の權力に歸し、男子が自分に都合の好い、從つて女子には都合の惡い社會組織を設立するに至つた。然し、此れは極めて自然の事ではなかつたか」と云つて居られますが、「自然」とはドンナ意味でせう。少し明瞭でありませぬ。譬へば風起つて舟を覆へし、霜降つて桑葉を枯らすは天然自然の一現象であります。此の意味に於て同氏は現今の私共婦人の境遇が自然だと云はれたのでせうか。それとも舟は覆るに委し、桑葉は枯るゝも顧みず、只管天然自然の成行に從へとでも云ふ意味でありませうか。自然の力を利用して自然に勝つが人類の萬物に長たる所以であります。女子に都合惡しき社會を改善して都合よくならしめんと努むるのは女子の人類たるの特權ではありますまいか。若し女子が男子方に抑壓せらるゝ事實あるが爲めにそれは自然だと申さるゝならば、同氏の認めて「原始時代には女子が男子より權力のあつた場合もあり、又男女對等の權利を有つて居た場合もある」のも亦た自然だと云はなければならぬではありませぬか。果して然らば女子が男子方に抑壓せられて居る現今の社會は「極めて自然のことである」との同氏の云ひ分は何等意味のないことになるではありませぬか。實の所ろ生物學者や、人類學者の唱ふる如く生物の初めに於ては雄は雌よりも劣弱であり、又同氏の認めて居らるゝ如く原始時代に於ては女子が優勝であつた事が自然であつたとすれば、今日の男尊女卑の社會の仕組は頗る不自然のものであると云はなければならぬではありませぬか。

全體同氏が認めて居らるゝ如く、昔には女尊男卑の時代があつたとして、それが今日の男尊女卑の時代に移り變つたとすれば、之れに移り變りし理由と歷史がなければならぬのであります。而して其理由と歷史は一定のものであるかドーかを一考せらるゝの必要があらうと思ひます。卽はち一般動物にしても、亦た人類にしても、一時全盛を極めたものが次の時代に於ては其全盛を極めた理由、事情、又は武器が發達し過ぎ、又之れを用ひ過ぎたために却つて其滅亡を來たし、繼いで來る時代のものが前時代のものに取つて代りし理由、事情、又は武器が再び其滅亡の源因となつて、更に其次の時代が現出し、かくして同じ歷史を限りなく繰返へして幾百千萬代を經過し、生物が初め混沌たるアミーメ樣のものより、終に現今の人類に迄進化し來り、又同じ人類が猿猴に均しき下等の人種より、現今の如き文華燦然たる文明國人となる迄にも亦同じ歷史を繰返へし來りし如く、初め男子が女子を虐げ抑壓せし唯一の武器たる腕力を尊重せし時代は正に過ぎ去つて、今日は智力や道德力の時代とならんとし、恰かも運命の車輪が靜かに廻轉して、昨日迄最底にありしものが、今日は終に最高の位地に上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぼり過ぎし幾千年又は幾萬年の間、奴隷と同様に男子によりて取扱はれて來た女子が、其の苦しき間に養成し來つた忍耐、機敏、愛嬌同情又は建設的の美德によりて、餘り遠からざる將來に於て、より高尚なる、より莊嚴なる女性の全盛時代を再び此地上に來たし、かくして今日迄の哲學者も、宗敎家も、豫言者も、將又政治家も、未だ甞て夢見ざりし程の文明の高さに、女子が男子方と倶に世界の全人類を嚮導し得るの日あることを私共女子は堅く信じて疑はぬのであります。故に博識なる同氏に向つて甚だ失禮の申分ではありますが、御研究序に、今少し深く生物學や、社會學や、又は人類學を御研究なされたならば、今日の同氏の思想の傾向は向後著しく變化するだらうと信じます。

それに生物學によりて生物は常に戰爭しつゝあるものであると知られし同氏は、速斷にも男女の間も常に同樣に戰爭をなしつゝあるものゝ如く思ひ誤り又言ひ做して居られますが、之れは同氏の婦人論の根柢に横はれる根本的の一大誤謬であります。生物の種類幾十萬あるか知れませぬ。而して其の雄と雌との間、又は一種屬と他種屬との間には常に絶えず戰爭があります。而かし雌雄の間には何等戰爭はありませぬ。人類にしても同樣で、男子と男子、國と國との間には古來幾十萬度戰爭があつたか知れませぬ。而かし男女と別れて戰爭したる事は殆んどないのであります。而して男性が女性を虐げ、之れを抑壓する事は、人類を除くの外の生物には一切ない事であります。之れは人類特有の惡德であります。否男子特有の惡德であります。此の惡德の結果として男子が女子を虐げ抑壓する事を修辭上形容して男女間の戰爭と稱する場合があるかも知れませぬが、それは内亂や國際間の戰爭の如く、男子間又は人種間にある戰爭とは全然其の性質を異にして居るのであります。殊に雌雄の間には「自然的の愛」と稱するものがある如く。男女の間には戀愛なるものがあつて兩性相牽引するの一大偉力となつて居るのであります。其間、好き嫌や、愚痴や、喧嘩はありませう。而かし男子間や、國際間や、又人種間にあるが如き戰爭なるものは男女間には斷じてないのであります。否、父親に取りて男の兒より可愛さは其娘であり、女子に取りて自分よりも嬉しきは相思の男子であり、又男子に取りて己が位置及び財産よりも可愛さは相愛の女子である内は向後幾億萬年の後に至るも男女間には決して戰爭なるものはないのであります。「自然的の愛」は生物存續の源であります。戀愛は家庭及び社會結合の妙機であります。

此の事實に氣付かず、此の理會を悟らずして、茅原氏は男子を横暴なる勝利者に譬へ、男子が女子を愛するのは眞に之れを尊び愛する爲めでなくして、其「裏面には恐る可き殘忍性が潜んで居る。若し、一方が調子乘つて對等の權利を要求するやうなことがあれば、鐵槌一撃、之れを壓伏し粉碎せずには置かない」と叫んで居られますが、之れは恐らく男子方が他の男子方に對する時の心持を云つたものでありませう。私は女子として男子方に虐げられ抑壓せられて居る事を常に憤慨して居るものでありますが、然かし戀愛の成立せる男女の間柄に於て、男子方は女子に對して斯程迄に殘忍であるとは私は毫頭信ずる事は出來ぬのであります。若し萬一にも同氏が同氏の家庭に於て、かゝる殘忍性の人であるならば、同氏の家庭は實に悲慘なものであらうと斷言するに私は憚からないのであります。且つ同氏が一般男子方がかゝる殘忍性を有して居ると云はるゝに對し、他の最大多數の男子は之れにより不尠侮辱を受

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けしが如く感じて深く憤慨さるゝ事であらうと確信して疑はぬのであります。

殊に男子方が一私共女子の哀れなる今日の境遇に深く同情して唱へらるゝ婦人論、又は爲さるゝ婦人運動の「裏面には不純の血が流れて居る」とか「多分の遊戯衝動性が含まれて居る」など恐ろ可き事を云つて居られますが同氏の所謂殘忍性なるものが、茲には更に陰險性となつてアリ〳〵と顯はれ居り、殆んど同氏御自身の人格さへ聊か疑はざるを得ざるが如き感も致すのであります。私共女子は同氏が自ら賤しめらるゝ同性は隨分惡德の滿ち〳〵たる方々であると思ひながらも、尙同氏程は御同性を不信用はして居ないのであります。靑島攻圍軍の山東上陸に當り、先づ以つて海軍の陸戰隊が上陸して其後續を安全にし、敵壘破壞には軍艦の掩護射擊や海軍重砲隊の協力を要せし如く、目下加州の排日運動に對して當の我日本人の十百の抗議、千萬の言論よりは、同じ亞米利加人の同情ある辯護が有力なる如く、北米の奴隷廢止は黑奴自らの無感覺、無覺醒にも關はらず、正義に滿ち義俠に富みし北米白人が、幾十萬の生命と幾千萬の資財を擲つて國家の運命迄も賭して一大戰爭をなし、終に人道の一大勝利を贏ち得て北米合衆國の歷史を彩り居るが如く、又更に歐米婦人運動の最初の聲援は正義の觀念と任俠の熱血に促されて起ちし男子の婦人運動者であり、今も尙ほ年々其數を增しつゝある事實に徵しても、我國の同運動に熱烈なる男子方の助勢が日々加はり來らん事を、私共女子は日夜に念じて居るのであります。

而して私共は女子自らの利益のみの爲に男子方の助勢を得んと熱望して居るのではありませぬ、私共は婦人論も婦人運動も同時に男子論男子運動だと思つて居るのであります。云ふ迄もなく、社會は男女の結合體であります。男子方の一擧一動が其影響を洩れなく女子に及ぼす如く、女子の一進一退も亦其男子に及ぼす影響は甚大であると信じて居ます。女子が家庭の外に立つて獨立し、又家庭に入りて其一家を修め、子孫を生んで之れを哺育し、直接にも間接にも、現代にも次代にも、男子方と倶に國家の運命を私共の纖手に握り居るに見て、私共の賢愚榮辱は同時に私共の身を伴にする男子方の賢愚榮辱となると思つて居るのであります。私共が婦人論を唱へ其運動をなすは、單に私共丈の爲めでなくして、同時に男子方及び子孫の爲め、卽ち國家人類の爲めであるからであります。其意味に於て私共は男子方も私共と同樣に眞面目に此問題を研究し、最善の努力を其運動に致され、一日も早く其圓滿なる解決に堀されんことを熱望して已まぬのであります。

然り、「男子は女子の敵である」との茅原氏の斷案は根本的に間違つて居るのであります。此の間違つた基礎の上に組み建てられたる同氏の婦人論は如何に光彩あり、奇拔であつても亦た間違つて居る事は云ふ迄もないのであります。而して同氏は私共女子が參政權や、自由や、獨立や、學問や、職業を要求する事た「奴隷根性を暴露して居る」と口を極めて罵つて居られます。而かし是等は皆路傍にころがつて居る小石の如きものではないのであります。誰れでも勝手に拾ひ取る事の出來るものではないのであります。是等は皆不幸にして今日迄男子方の專有物となつて居つたのであります。之れを私共も同樣に共有する事を要求するのが何故に奴隷根性でありますか。明治の初年に男子方が民權自由を唱へられし事を誰れが奴隷根性だと云ひましたか。其後其人方が頻りに國會開設を建議せられました事を誰が奴隷根性だと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嘲りましたか。今日普通選擧を叫ばるゝ男子方も同じく奴隷根性から之れを叫ばるゝのでありますか。何故に男子方は之れを叫び、或は要求し、或は建議せずに、直に奪取しないのでありますか。物には歴史もあれば順序もあります。雜駁なる空論は休み〳〵云つてほしいのであります。

同氏は例の英國の女子參政權論者の現況に徵して其說を確めんとして居られます。私は敢て反問したいのであります。英國の男子が今日の自由を得し迄には何百年かゝりしかを。而かも英國の自由の歴史は血と淚の歴史ではありませぬか。同氏は不相變粗雜なる云ひ振を以つて「男子の態度の頑として石の如きは何故であるか」と。男子とは男子全體を云ふのですか、それとも其一部を稱するのですか。全體ならば全然事實に相違して居ます。之れを同國國會の決議の模樣に見るも、反對者の數が辛うじて贊成者の數に超えし位の事は度々あつたのであります。現に現今の政府黨の由來其黨の主義として之れを排斥し來りしも、時勢の進運に餘儀なくせられて、此の一兩年は之れを黨議とせずして、閣員銘々の自由意見に委して居るではありませぬか。而かも朝野の別なくよつぴし極端なる反對者は別として、其内主義としては贊成なれども未だ早きに失すると信ずるが故に反對するのみと男らしく公言して憚らざるものも多數あるではありませぬか。何れにもせよ此の提議が兩院を通過するは只時の問題のみとは英國の輿論ではありませぬか。同國に於てウォルストンクラフト女史が「婦人權利の主張」の一小册子を公にして婦人權利の爲めに呱々の初聲を擧げしは僅かに今より百二三十年前の事ではありませぬか。ミルが「婦人の屈從」なる名篇を著はして婦人の爲めに萬丈の氣焰を吐きしは僅か四十五年前ではありませぬか。數百年掛りて血と淚を以つて漸やく贖ひ得たる尊貴なる自由を、比較にならぬ程の僅かの年月の間に、而かも殆んど一滴の血も流さずして、今日の希望に滿ちたる程度に迄同國の婦人が押し進めしは實に驚嘆に値するではありませぬか。

同氏は又例を米國に取り「米國の男子が、最も男性的と呼ばるゝ自國の女子に、今猶參政權を與へないのは何故であるか」と。之れは博識なる同氏が未だ同國の政治の仕組に氣付かれざるの致す所より起りし御質問であります。と申しまするのは、かゝる問題は初めワシントン市の中央政府で議決して後、之れを合衆國の各州に命令するのでなくて、四十幾州かの自治に委し、而かも各州共上下兩院ありて之れを討議し、幸に兩院を通過するも尙ほ其州知事の認可を得るに少なくも一兩年は掛かるのであります。それも幸にして其知事が同意ならば期間内に認可を得るも、若し萬一不贊成の場合は否認されて、再三同じ手續を履まなければならぬのであります。之が我國の如く勅令によりて直に國會が開設に至りしが如きものではないのであります。譬へば目下加州問題の如きものが何年かゝりても未だ其解決の付かざるは此仕組に原因するからであります。而かも尙同國西部の内六州は既に女子が男子と共に議院の席に列して其政治に參與し、着々好成績を擧げ、コロラド州の如きは其後議院に於て滿場一致を以つて、女子參政の好成績を決議し且つ六州共今日に至る迄未だ一度も女子參政の無用有害なるの動議をなしたるものがありませぬ。昨年春イリノイ州に於ても女子に參政を許るして「ミシシピー」河以東始めて新氣運に魁して、今や其勢正に東部諸州を風靡せんとするの慨あるのであります。而してかの奴隷廢止論者中の熱心なる婦人が、其主張を公衆の前にて演說するや、女子にして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公の場所にて演說するとは何ぞやと、あらゆる惡聲を放ち、其會場を燒打して尙ほ飽足らず、夫等婦人を殺害せんとせしは今より僅かに七十餘年前ではありませぬでしたか、米國最初の女子大學たるヴアッサル校の設立は未だ五十年に足らざる事一年ではありませぬか。而して此短時日の間に於て米國の輿論が全國を擧げて女子に參政權を與ふるは只時日の問題であると迄進み來つたのは、寧ろ異常の進步であると云はなければならぬではありませぬか。茅原氏たるものヨロシク大ザツパの空論を止めて、事實に基づいて立論せらる可きであります。而かも「女子の權利の高めらるゝは、やがて男子の權利の低めらるゝ所以である」との奇論の如きは、男子方の權利と男子方の我儘とを穿き違へて、女子の權利が高めらるゝに至れば、男子方の我儘は制過せらる可きも、其權利は益々尊重せらるゝに至る事に氣付かれざる混線論に外ならぬのであります。

同氏は又しても「男女同權とか男女對等とかいふやうな妥協的狀態は決して男女の衷心の要求ではない」など云つて居られます。私共は男子方の此點に就ての衷心の御要求は知りませぬ。而かし「女子は出來得べくんば男子の上に支配權を揮ふことが本願であるに相違ない」などは、同氏が全く私共女子の心理狀態を知られざる臆斷に過ぎないのであると申上たいのであります。私共は繰返して申します、「女子に取り自分よりも尊はしきは相思の男子である」と、而して私共婦人論の目的は男子方と俱に私人として充實したる、豐富なる、完全なる生活を送り、公人としては、其活動、努力、進步によつて國家人類の幸福進運に貢せんとするにあるの外餘念ないのであります。

私共は本文中これ迄は殆んど皆茅原氏の御議論に反對を表しました、玆に一個條全然同氏に御同意申上る事があります。それは他ではありませぬ。「先づ實力を養へ」との御忠告であります。實力のない所に權利も自由も進步もありませぬ。此點に付ては確かに同氏の御忠告を甘受致します。同時に我國三千萬の女子が一人も殘らず實力を養ふ迄は沈默して居れと云はぬ計りの御議論には遺憾ながら承服出來ませぬ。譬へば明治の初年に男子方が民權自由を唱へられし時、之れを唱へられし少數の裡には、朧げながら民權自由の何物たるの自覺はありましたらう。而かし我國民の殆んど全部は此點に就ては自覺も覺醒もありませんでした。さりとて之れを唱ふる事を止む可きでありましたらうか。否却て國民一般の覺醒を促がす爲め之れを唱ふる必要があつたではありませぬか。其後引續いて國會開設の建議の時にも、國民の大多數は未だ其必要を感ぜざりしのみならず、其何の事たるやも明確かに熟知しては居ませんでした。さりとて此の建議は無益の事でありましたか。否、其故に却て早く之れを開設して國民に自治の精神を起さしむるの必要があつたではありませぬか。而かも國會開設以來玆に貳拾餘年、有權者中、選擧場裡に足を向けるものは僅かに其幾割丈ではありませぬか。而して譯の判つた者は之れを煩さがり、最大多數は政治の何物たるやを知らぬではありませぬか。幸に普通選擧法が其熱心家の御希望通り行はれたればとて、國民一般が其恩澤にあづかる迄には不尠時日を要するのであります。さりとて今日は國民一同が政治上に於ける實力を養ふ迄は國會を閉鎖せよと云ふ愚者のあることを聞かぬではありませぬか。私共女子が實力を養成す可きの必要あることは同氏以上に私共自ら感じて居ます。而かし我國女子一同が其實力を養ひ得る迄は婦人論も唱へてはならぬ、婦人運動も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御遠慮申上ればならぬと云ふが如き御論調には敬服出來兼れます。初め政府の役人方が民權自由論者や國會開設論者に向つて同じ論法で先づ御まへ方は實力を養へ參政の伎倆を磨けよ、其準備が出來たらば御まへ方の願意も聞屆けてやらう」と答へたではありませぬか。而かし如何にして國民は其實力を養ひ又參政の伎倆が磨けたでせう。只國民にも政府の役人方と同樣の機會と之れに適應する訓練を授けるの一法あるのみでありませう。其機會も與へず、其訓練もなさずして、徒に實力を養へ伎倆を磨けよ、さらば自由も與へやう、國會も開いてやらうと云ふのは實に愚にもつかぬ迂論であります。茅原氏は此の役人方の愚にもつかぬ迂論を大正三年の正に終らんとする時に於ても尙ほ唱へんと欲せらるゝのでせうか。

又同氏は私共の同性に向つて其覺醒を促せよと忠告して居られます。御忠告を受ける迄もなく、私共は及ばずながら日夜に之れを努めて居ます。同時に男子方の我儘無智に基因する橫暴抑壓はつまり決して男子方の眞の御利益でもなく、又國家人類の進運を促がす所以の道でありませぬから、男子方も一日も早く玆處に氣付き大に自から覺醒せられん事を同氏も同氏の御才筆又は御辯舌にて御同性に促されん事を切に祈ります。

要之、同氏の今度の婦人論は、其論理の支離滅裂なる事は前陳縷述の如くではありますが、同氏の深意は殊更かゝる極端なる議論をなして大に私共女子を覺醒奮起せしめんとなさるゝ老婆心より玆に到りしものと、善意に解釋し其同情を深く感謝して此の八ッ當りを結びたいと思ひます。

新刊紹介

▲自由思想（久津見蕨村氏著）

第一編ニイチエの宗教觀、第二編哲學と道德となつて居て、第二編の中に婦人論も出て居ます。先生の婦人論は要するにニイチエから來たもので、私共の主張とは相入れませぬが、『基督教の思想の批評』や『哲聖ニイチエ』からは大に學ぶ所がありました（定價一圓廿錢　神田區錦町一の七　文明社）

▲至動自覺法（中村六藏氏著）

著者は維新の當初雲井龍雄等と事を共にし、明治十年の西南戰爭に西鄕方となり、最近の變政にも活躍した老志士である。其の多年國事に奔走し、屢々獄に下り、獄中で考へ出したのが此の至動自覺法である。氏の發明にかかる精神統一機を用ゐて靜坐せば、何人も容易に精神を統一することを得て、精神修養上、又身體を健全にする上に非常の益を受けることが出來る（四十錢　牛込區通寺町廿三　三友堂書店）

▲心身修養療法（檜山鐵心氏著）

著者の習得した心身修養の祕訣を書いたもので、尙ほ、古來の健康法、精神療法から最近の藤田式息心調和法、岡田式靜坐法までの要を記して、それを比較し、一ち一ち之れに批評を加へてある（七十錢　麴町區土手三番町十七　研精會）

▲我が藝術（藤元慈祐氏著）

若がき詩人の短歌集で、新しき氣分に富んでるのが嬉しい（五十錢　麴町區有樂町一の三　婦人文藝社）

▲少年倶樂部（十二月號）

笹川臨風先生の『木村長門守』『芳賀博士の『神童菅麟嶼』高島平三郎先生の『ジマンラスーキン』大澤法學士の『酒樽詰の火藥』肝付中將の『海國少年諸君よ』兒玉花外先生の『荒木又右衛門』乃至は巖谷小波先生の『群盜』など、取り取りに面白い（十五錢　本鄕區駒込坂下町四十八　大日本雄辯會）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八百屋お七

島田筑波

一

天和元年はもうあと二三日におしづまつた年暮も愈々二十八日の晩であつた、凄じい火は駒込大圓寺の塔頭から破れて、見る〳〵本郷の高臺をつゝんでをりからの烈風に、東南へ次第〳〵に燒きひろがつて火は下町神田の方にまでなびくのであつた、家、道具を失ふは勿論、その爲めに燒死ぬ人も少くはなかつた。

その本郷に八百屋市右衛門と云ふ商人が住んで居つた、家も相應に暮らし素性もさまで賤しくはなかつた、その一人娘にお七と云ふ美形があつた、曳尾菴の「我衣」によりますと「色白く、ふとり肉で少し疱瘡のあとがあつた」としてありますが、他の人人の書いたものでは、色淺黑けれど、眼は涼しく冴えて、頸細し」としてあります、どちらにしてもその時は年も十六の評判娘であつた。

火がだん〳〵お七の家近くまで寄せて來ましたので、母親はお七を引連れて、一先づ旦那寺の小石川指ケ谷町圓乘寺天台宗に立退くことになりました、かうして火を除けて寺に避難して居りますものはひとりお七親子ばかりではない、皆それ〳〵の所縁を尋ねて寺々の宿坊に難を凌ぐのは、この時分の習慣でした。

然う斯ういたして居りますうちに、いつかその年も暮れて天和二年と改まりましたが、なにしろ斯した燒出されの身の上とて、お七は着換への着物とては一枚も持合はせて居りませんでした。

寺の和尚はお七の着換さへない身の上をなにかと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いたはつて、寺にある丈けの着換へをば出して貸與へられた、その中に桐銀杏をならべた紋のついた黑二重羽の大振袖が一枚あつた。

　お七は何氣なくそれを取上げて見ると、紅の燃える紅裏を山道に裾取て、それぱかりでも仔細ありさうな仕立方であるのに、何時誰れの焚き掛けの殘りか輕い香の匂ひが、ホンノリと小袖に漂うて居つた。

　年頃を見れば丁度自分と同じ頃である、何所いかなる姫君の着馴れた小袖か、そして見るもつらき親子の嘆きを、籠めた寺への納め物ではなからうかと、お七は偶と思ひ付てそれがもととなり、どうも頭が重いといふ事から、續いて心持勝れず、床に就くほどではありませんが、始終氣が鬱いで寐たり起たり、ぶらぶらして、はしやいだり、沈んだり、決りのない所作ばかりが續きました、母親はいつもの癖がまた初まつたのであらうと、可笑しく放つて置きましたもの丶、どうもこの頃の樣子は唯だならない、深い睫毛に露を宿し溜息ばかりして人に碌々物言はぬ日が續きますので、一家のものはよりより相談を開いて、なんとか驗の現はる丶手段はなからうかと、それぱかりを案じ煩ふといふ始末でございました。

吉三の建立せし六地藏の一にて巣鴨の眞性寺にあるもの

二

　然るにこの寺と同じ宗旨で駒込に圓林寺と申すお寺がございました、そこに小姓を勤めて居りました吉三郎と申す美少年、同じ宗旨の事なりよくこの圓乘寺へ遊びに來られて、いつかお七をふかくも思ひ染めあけくれ思ひこがれて居りました、然しそれと誰れに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も打明けて言はれぬ事とて、これまた鬱々としてその日を送つて居りました、その様子がどうも唯事と見えない、下女のお雪が早くも見とがめまして、どうして吉三郎様はこのごろさう打沈んでばかりゐらつしやるのかと根掘り葉掘りして聞き墾つてみると實は近頃恥かしい話ですがお七どのを見そめましてと、ツイ涙ぐんで今日までの苦しい胸の中を明かして聞かせました。

　すると下女のお雪はハタと膝を打つてそれでよく思ひ當る事がございます、實は家のお嬢様もこのごろの御不快はことによつたら吉三様を思ひ焦れて入らしやるのではなからうかと、こゝが奉公の爲所と思ひ込みまして、それならば妾におまかせなさいまし、必ずこの戀のとげられますやうに取持いたしましやうと、吉三郎をばよろこばせまして、一通の手紙を認めさせ、それをば懐中に、お雪はお七の一間に立越え何となく一つ二つ世間の咄にまぎらせお七の機嫌を見まして吉三の手紙をば手渡しいたしました、お七はなんと思うてかキッパリ断つて今後かういふ使はするなと言ひ聴かせた。

　けれども、吉三郎はふかくも思ひ込んだ事ですから、かくと聞きましても、なか／＼お七の事を忘れるわけには參りませんで、その後も下女をたのんで切なるこゝろをのこるかたなく打明けまするのでお七は今はこゝろ動いて吉三のこゝろに從ふやうになりました、所謂氣が轉じたものでございましやうそれから日に日に薄紙をはがすやうに、もとのお七に歸りました。

三

　やがてそのうちに森川宿の我家の新築も落成いたしましたので、お七は兩親にともなはれまして、假普請の我家へ戻ることになりました、それは柚子がやゝ黄になる十月半の事でございました、それからと申しますものは、悲しい日ばかりが續きました、吉三にはその頃の風習で、住職の和尚と衆道の關係がございましたので、お七との事が和尚の耳に入り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ますと、嚴敷誡めてお七との逢ふ瀬を妨げました、お七はそれと知つては思ひ思ふ日夜に責められて、物狂はしい悲しみに瘦せて行くのでした。もう、手紙に書いた自分の心持に滿足する事などは出來なくなりました、ある夕方空風の騷ぐ空をヂツト眺めて居りますと、淚は止度もなくその美しい頰に流れて來るのでありました。

偶と舊臘の大火事を思ひ出しました、そして、樂しき夢のやうな、或る日或る夜の思ひ出がそゝるやうに軟かい胸板を貫いて上つて來たのです。

お七は銳くその耳を引立てますと、風は烈しく外を吹き暴れて居ます、お七はそつと裏口から拔け出まして、自分の家と隣家との間に、古綿や反古を藁苞にして、その中に炭火を入れて投げ込みますと、暫らくして燃え出した烟が八方に擴がつたので、近所の人達はすは火事だと、そこからもこゝからも、大勢で天水桶からも井戸からも、水を盛んに濺がれて、やつと、大事をとりとめました。火のある所ではなし、どうして火が出たのであらうと人々は不審に思つて、彼是れ見廻はしますと、お七は自分でも狼狽たものと見えて、反古だの藁苞だのといふ證據物件を手に持つた儘で、その邊を彷徨してゐたので、すぐ町內のものに取押へられ、時を移さず奉行所の出役に引渡されたのであります。

四

お七は法廷に引出されて、嚴しきしらべを受けましたが、我が罪は最早のがるゝ處でないと覺悟を極め、戀故かゝる大罪を犯すに至つた次第は白狀に及びましたが、その相手の吉三の名はどうしても申さず、狂氣の體を裝うて、遂に掟のとほり火あぶりの刑に處せらるゝ事になりました、そこで瘦馬にかき乘せられて市中のところ〴〵の木戶前に曝されました、今日は神田のくづれ橋、又は四ッ谷、淺草、芝日本橋と見る人々の評判となつた。

然し、思詰めたお七は顏のやつるゝ事も無かつた。毎日髮を昔通り美しくあげて、羽二重白小袖甲州郡

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内のごばん縞、淺黄糸にて縫たる定紋の三ッ柏五ッ所にもゝいろの裏付たる大振袖を上にかさね、はやびろの紫帯を二重にキリッと引まはしうしろに結び時鳥の鳴く三月二十八日、いよ〳〵最期と刑が定つた、刑場に引出されて、かくと申渡されても然まで敢て騒ぐ色は見せなかつた。

無想の間に死にたいと云うて、首さしのべて唯一心に念佛を稱へてゐる。

役人も不憫がつて、咲き後れの櫻の一枝を手に持たせると、お七はうれしさうにそれを眺めて居つたが、

世のあはれ、春吹く風に名を殘し、おくれ櫻のけふ散りし身は——と云ふ辭世の歌さへ詠んだ、そして、その夕暮、見物の群集に見送られながら、立のぼる白煙の中に命をすてた。

その日の裝であつた、小袖の郡内柳條の小切は、世間の人、それからそれと拾ひもとめて、世の物語のたねと殘りました。

五

それにしても、娘の相手、その少年は何うなつたらう、最期の時にも姿を見せなかつた不思議さよと諸人の噂は斯うあつた、然う云はれる吉三郎は、お七の犯火は自分故と聞いて、大に驚き悲しみましてすぐにも奉行所に馳せつけて、その戀の相手は私ですと名乘つて出て、お七諸共罪に服さう考へでありましたが、下女のお雪にどうぞしばらくと押とゞめられまして、お七どのが貞節を守り一人罪を蒙りしは、只あなたの御身をいたはり助けん爲めです、それを察せず濫りに生命をおすてなされたならば、折角のお七どのが貞節も空しく成り、そのなきあとを弔ふ人もありますまい、さ、こゝの道理をよッく思召され、いつまでも生命を全うして、生きながらへお七どのゝ亡き跡を弔ふが御身の功德ではございますまいかと、心を盡してすゝめられましたので、なるほどさうであつた、死は易し生は難いものであるよし〳〵それならば佛道に入り、我爲めに生命をす

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てられた、お七どの〻冥福を祈るであらうと、すぐに髪を剃りこぼちて、抖擻行脚の身の上となり、諸國を勸化して江戸に歸つて參りました、そして目黑に明王院と申す庵室を結び、そこから毎日晝夜二回づつ念佛を稱へ乍ら、淺草の觀音堂へ十五年の間の修行を滿しました、十五年と申しますればなか〳〵一朝一夕の修行ではございません、それをかうして斷乎たる態度で修行をとげられた吉三の道心は、いかに堅固であつたかゞお分りでございましやう。

　吉三の遺された仕事で世に傳へねばならぬ仕事がいくつもございます、まづ目黑の太鼓橋、あれは一名を相合橋と申しますが、あれは吉三が淺草觀音へ參詣二千日成就の日に、自費を以て架られた石橋でございます、それからお七のために江戸の市中に六地藏建立の志願を起し、三十年間諸國修行の勸化によつて得ました金錢を以て、江戸の四隅にそれを建てました、まづ木曾街道の入口に當ります、巣鴨の眞性寺に一つ、それから奥州街道の入口に當ります淺草山谷の東禪寺に一つ、甲州街道の入口に當ります新宿大宗寺に一つ、また東海道の入口に當ります南品川の品川寺に一つ、あとの二つは、深川靈岸寺に一つ、もう一つは深川八幡の別當永代寺にございます。

　これらはいづれも、今以て嚴として殘つて居ります、かやうに吉三はお七の菩提を一向專念に弔はれたのであります。

　吉三の佛道に入られてからの名は初め地藏坊正元と申し、後に西運法師と改めました、かくて七十三歳の長壽を以て元文五庚申年十月四日、目黑の明王院にて寂滅いたされました。

　その墓は今尚目黑の大圓寺と申すお寺に、生蓮社六譽念阿大德と記されて殘つて居ります。

（十一月六日稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

東京　近藤なを子

うらめろ日又あはれむ日さま〳〵に、病みます君を思ふこの頃
遠國に病みます君のみ心の、いとも弱きがはかなまれぬる
ひたすらに物に伏したき心地して、文よむ事も築なすもうし
うら若き人と語りて病む君を、なやましたりし罪多き我
紙等をきざみぬ友は定まらぬ、文字など書けりかく語りつゝ

東京　吉原生

ひとり者は午砲なりぬれば懶けに、冷き膳をひきよせにける
十年まへ世に謳はれし勇士等の、杖にすがりて物賣り歩めり
我隊に育ちながらも路にあへば、け疎く過ろ猫の性かな
おぞましきその手弱女はけふもまた、卵産む鷄見守りて立てり
弱くなりにけるかな青島落ちし、夜の花電車にさへ涙せり我

東京　くみ子

遺露看護婦のために

外國のあれし野原に笑しう、赤く花さけ大和撫子
長き夜を豆など煮つゝ留守もれば、更けし嵐に落葉の騒ぐ
笑顔して交換局を出て來ろ、若き女に淡き秋の日

山茶花を轍（わだち）にかけぬうす色の、ベールかけたる女優のくろま

みち

俳句

落葉掃く初瀬法師や耳疎き　くみ子
初冬の木佛に淡き夕日かな　同
櫓を出て花野に遊ぶ子馬哉　同
柿たわゝ庇の低き藁家かな　同
かゝら居の團唄組う礁かな　同
尼寺の旭つめたき落葉かな　潤子
落窪に赤き夕日や柿の村　同
里の子や木の實投げ合ふ寺の庭　同
杉の闇のそと立ち居ろ雄鹿かな　圓子
電車待つ合傘寒し小夜時雨　同
響落ちて土に聲あろ寒き哉　同
聞き馴れて砧なき夜の淋しさよ　同
散り殘ろ一葉さみしや桃青忌　同
落葉する音の淋しき月夜哉　同
追想のあまき現（うつゝ）に紅葉散る　同
爲し終へし事の安堵や除夜の鐘　同

青島陥落

蜻蛉飛ぶや最早うたざろ攻城砲　茂子
菊活けて澄む心斎に親しめり　同
聲低う距れしを惡ふ菊夕べ　同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

静かさや月下の菊に一人おる　同
髪結ふや鏡にうつる床の菊　茂子
主翁待つ客の瞳に菊白し　同
新水のいとま菊作る僕かな　同
菊雛調度皆冷ゆ夕べかな　同

國技館

菊の前に立ちし瞳や晴々し　同

湖會詠草

積垣の吊ろし大根や冬の草　猶一
枇杷咲くや日南に掛けし囮籠　同
軒近く雀ふくれて冬に入る　同
迫せまる沼のしゝまや鳰の聲　同
尻打つて馳走らす木の實かな　同
欵乃も海にとろけて小春凪　同
饅喰うて女淋しう笑ひけり　直人
目に迫る鋸山や冬の月　同
哨兵の時雨て立てる木立かな　同
夕空や落葉にゆらぐ蜘蛛の網　同
水薬の口引しめて朝寒し　とみ子
北窓を塞げば匂ふ閻爵哉　同
寒き夜を腹ぺん／＼の布袋哉　同
南國へゆく帆仄かに小春凪　同
慾うなれば慾も美くし福熊手　同
時雨るゝや柳につなぐ荷足ぶね　同
風やかゝづらひなき地藏尊　同

獨逸の産業發達と職業婦人

ゼー・エフ・ミルス

獨逸の産業が最近四十年間に、驚くべき進歩を爲したることに就ては、獨逸婦人が非常に産業的になつた結果が、與かつて大に力ありと云はねばならぬ。左の表に示せる如く。

生活の爲めに勞働せる男女の百分比例

年	國	女	男
一九〇七	獨逸	三〇、四	六一、一
一九〇一	イングランド及びウエルス	二四、八	六四、六
一九〇一	スコツトランド	二五、八	六四、〇
一九〇一	アイルランド	二四、二	六三、八
一九一一	イングランド及びウエルス	二五、九	六五、六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日、生活の爲めに勞働せる婦人の割合、獨逸に於ての方が、英國に於てよりも多いのである。

而して獨逸に於ての生活の爲めに勞働せる婦人の數が、最近二十五年間に、ドノ位增加して居るかと云ふに。

一八八二年	五、五四〇、〇〇〇
一八九五	六、五七八、〇〇〇
一九〇七	九、七九〇、〇〇〇

右の數字の示せるが如くであつて、卽ち二十五年間に七割一分の增加である。若し此の增加の割合を獨逸全人口增加の割合に比較せば、約二倍である。

單に既婚の職業婦人に就て云へば、其は職業婦人全體の三割で、千八百九十五年より千九百〇七年に至る十二年間に、十六割六分の增加である。又未亡人、離婚婦人、其他家庭と離れたる婦人にして職業に就事せるものは、職業婦人全體の四割六分餘を占めて居る。

若し又職業別にして云へば。農業に就事せる婦人の數は、千九百〇七年の調査によるに、農業勞働者全體の五割八分半を占めて居る。斯く農業に就事せる婦人の多いのは、主として農村の青年にして都會に出づるもの丶甚だ多き結果である。

織物工業に於ては、之れに就事せる婦人の數が

年	男	女
一八八二	五四七、九五一	三六二、一三八
一八九五	五三二、〇三七	四六一、二二〇
一九〇七	五二九、八九九	五五八、三八一

の如くに增加して居る。

裁縫工場に於ては、之れに就事せる婦人の數が

年	男	女
一八八二	六七〇、二六六	四四九、三三九
一八九五	七一〇、二七〇	五一四、三五一
一九〇七	六八四、二五四	六一九、五九九

の如くに增加して居る。

煙草工場に於ても婦人勞働者の數千八百九十五年より千九百〇七年に至るまでの間に、八八、〇〇〇より一一三、八〇〇に增加し。又染物工場に於ても、十二年間に婦人勞働者の數四割三分九より六割三分三に增加して居る。

次に賃銀はと云ふに、獨逸婦人勞働者の九割二分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は一週十六マルク（七圓六十四錢餘）の賃銀しか得て居らぬ。英國婦人勞働者の賃銀に比すれば甚だ少ない。同樣に男子の勞働者の賃銀も少ないから、獨逸の勞働者は甚しい粗食をして居る。馬肉は彼等の唯一の珍味で、之れにさへ有り付けぬものは犬肉を食つて居る。千九百十二年の統計に、同年獨逸で八千頭の犬が、肉を賣るの目的で屠殺されたと出て居る。其の上に獨逸の勞働者には、休日が少ない。英國では一週間に休日、一日半が定則なれど獨逸では一週一日の休みが、休息の一番長い方で、一週にただ數時間の休息しかせない所がある。

多數の獨逸婦人が低賃銀に滿足して、而かも休息時間の少ないのをも辛抱して居るのが獨逸の產業發達の主なる原因の一つである。獨り職業婦人の上から觀察して然かるのみではない。凡ての方面に於て獨逸は迅速に發達を遂げる爲めに極端に無理をして國民を苦しめて來て居るのである。

公益的婦人團

米國婦人聯合通信局長、

マリー・アイ・ウッド夫人

私は恁う云つた記事を讀む每に、日本の覺醒した新婦人のなしつゝある事業について考へ及ばざるを得ない。そして私の結論はいつでも恁うである。「日本で新婦人の生れたのは極く最近の事だ。丁度今迄籠の中にとぢ籠められて小さな天地の外少しも知らなかつた小鳥が、籠の戶が開いて出た時の樣なものである彼等は東洋道德と云ふ重い壓迫の下にあつた。殆んど先天的に無自覺で服從的に馴らされて居た。それでも彼等の心の奥にはいつかは自覺しなければならぬ、いつかは此の壓迫から醒めなければならぬと云ふ念の芽が枯れずに居た、その芽が生え出したのである。籠の鳥は狹い天地から急に廣茫たる大自然の中に飛び出した。籠から出た、自由になつたと云ふ自覺はあるが、彼等の多くには未だ心の動搖が止まない、右に行かうか左へ行かうかと迷つて居る。しかも四圍の眼にまだ氣を兼ねて居る。遠からず彼等の心にも落つきが來て、やがて正當な方向に彼等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の道を見出すであらう。其の時期は近く來るべきである。その曉にはいよ〳〵多くの自覺した職業的婦人も顯はれやう。眞の意味に於ける公益的婦人團――從來の樣な虛榮や僞善のでないが――、あらゆる階級から出るであらう」と。

* * * *

米國テンネッシイ州に公益的婦人團がある。其婦人團は基礎を確實な生産事業に置き、其收入の全額を擧げて公益事業に投じて、色々の爲事をして居る。彼等の生産的事業の第一は、バタ製造と養雞とである。彼等が愈々之の事業を形に顯はしたのは今から四年前である。尤もそれ以前から「プレザント、ヴアレイ婦人團の爲事と」稱されて、可なり色々の事業をして居た。一九一三年一月からは、合衆國政廳の發行にかゝる、農夫報告、殊に其第二十四號の「田園事業としてのバタ製造業」によつて研究を重ね。大規模にバタ製造を起した。そして可なりの努力を以て研究したり議論したりした結果は忽ち目に見えだした。即ち其年の六月に一般のバタの市價一封度十五錢の時に、之の婦人團の製造したものは三十錢の高値を示し、九月には更に四十五錢に騰つた。即ち品質が一般のものより優等であつたからである。それ故婦人團製のバタの呼び聲は市場に騒がしくなり、本年一月には注文引きも切らずと云ふ有樣で、全部の需要を充す事が出來ぬ樣な好況を呈した。

而して之の收入で忽ち土地建物其他の負債を消却し、更に工場を增設し、學校を起し、敎會を新設した。

一方養鷄によつて得る利益は凡て敎會の費用に充當した。新らしい設備や必要の器具の購入されたのは勿論である。

此の婦人團の人々は「今迄の中で一番幸福な生活をした」と喜んで居る。

かくの如くテンネッシイ婦人團の試みが成功して山中の授産所(Settlement House)でも可なりの爲事が出來ると云ふ事を立派に證明されたので、テンネッシイ州の聯合クラブでは、義務敎育令(Compulso-

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ry Education Law）を布く前に、先づ三個の學校を建てた、そしてその學校經營の事を州廳へ引渡して置いて更に今度はスモーキー、マウンテンへ授産所を新設した。

此の授産所といふのは極く簡易なもので、マウンテンハウスとして必要なものの外には何も置いてない、ここでは子供達に創案された遊戯が敎へられる尙近所の女の子には、山中の家庭に必要な事項—衞生的簡易料理法や寢床の造り方や裁縫其他家庭的必修科目が授けられる。又男女子供を通じて讀み方討議、手工及科學的園藝等も敎へられる。

テンネッシー婦人團の爲事は之に止まらない。子供等の母親も時々之の授産所に集まつて、裁縫、料理、讀書等の敎授を受け、又父親も夜の暇を利用して集まつて色々の講義を聞いて居る。

此の婦人團は、山の中の家庭を、もつと幸福に、彼等の心に向上的精神を與へるだけでも尙幾多の爲事があるとして、益々彼女等の努力を續けて居る。

アイオア州チャーレス市の婦人團は、市街改善倶樂部」と云ふのを組織して、彼等の住んで居る市街に便宜と、衞生と、美觀とを計る爲め努力をして居る。此の市に來る人類や家畜の爲め少しでも便宜なものにはドシ／＼改善を加へて居る。

＊　＊　＊　＊

ケンタッキイ州婦人聯合團は、レキシントン市廳の賛助を受けて、一大貧民學校を起した、之れは二十年來の計畫を實現したのである。

設備は實に完全したもので、如何に完美した學校でも之の貧民學校に及ぶものはない。家庭學校としてあらゆる設備がなされてある。貧民はここに入つて皆生産的活動的の訓練を受けて居る。

之の計畫は主として、其婦人聯合會長の、デシヤ、ブレッキンリッジ夫人によつてなされたのである。

（一九一四、一一、一〇澤標生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日蔭もの

山田きよ

北向の窓の前に、銀杏返しの女が机に頬杖ついて居る。後から赤いリボンの少女が、ぬき足にて近より、おどかす様に肩につかまる。

女。まあ露ちやんなの、誰かと思つたら。

少女。誰かと思つたの、え丶？

女。よそのかたかと思つたの。

少女。よそのかたつて、叔母さんの好きなひと？

女。叔母さんには好きなひとないの。露ちやんが一番すきなのよ。

少女。でも毎日夕がたになるとお手紙書いてあげる、あのかたは好きぢやないの？

女。あ丶。だけど露ちやんよりい丶ひとはないのよ、お前さんなら自分を忘れて、可愛がつてあげられるもの。

少女。ねえまだ書かないの、あたしまた出してくるわ、横町の郵便函のとこにね、大きな白い犬が居るの、あれさへ居なけりやこはくないの。

女。露ちやんはほんとにい丶子だねえ、ありがたうよ、だけど私はもう手紙書くのよしたわ。

少女。なぜよ、あたし馳け出して行つて來るから大丈夫よ。

女。もうねえ何んにも書く事が無くなつて了つたのよ。こんな寂しい夕がたをね、默つて斯うやつて見て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居ればいゝのよ――私ばかりでもあるまいから。
少女。なんだか寒くなつたわ。叔母さん何をみてるの？
女。あすこに森が見えるでしよう、いつも私が机に向つてぢつと見つめると、私の心の底に潜んで居るものが、みんな自然と浮んで來てね、あのひとに手紙がかけたのよ、だから嬉しい時も寂しい時もあの森をみるのが好きだつたの、けどいまあれを見ると、私にはそれが悲しくなる許りなのよ、もつと泣いてごらんと言ふやうだわ、私に死んで了へといふのかもしれない。あゝ堪らない寂しい夕がただねえ。
少女。死ぬなんて厭だわ。ねえ厭あよ。
女。嘘よ。嘘よ。私は怎したんだらう。露ちやんあすこの戸棚から小さい瓶を取つて頂戴。
少女。どれ？――あらこれお酒でしよう。
女。それはねえ、お藥なの。眠られない時に飲むやうにつて、葉山さんが呉れたの。
少女。嘘だわ。さつき葉山さんがさう言つたわ、「叔母さんはまだこれを飲むかえ、これは叔母さんの持病に悪いから、露ちやんはとめるんだよ」つてこれ飲むと死んで了ふんでしよう、ねえ。
女。みんながそんな事いつて、露ちやんをからかふのよ。誰が死ぬものかねえ、（酒を飲む）けどもしか私が死んだら怎して、お前さんはそんな事考へたことあつて。
少女。えゝ。いつでも考へたわ。
女。考へる事があつたの、まあさうかねえ――（酒をのむ）
少女。だつて學校の先生がね、「露子さんは御兩親が無くつてお氣の毒ですね、叔母さんがお嫁にいらつしやつたら、怎なさるの」つて仰るのよ。だから「うちの叔母さんは一生お嫁になんかいかないんです」つて

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いつたら「それぢや叔母さんが死んだら露子さんは一人ぼつちになるでしよう」つて仰つたの、あたしそれから泣いちやつたのよ。

女。ふうんあの女教師が――世間の人達はさうやつて、露ちやんにいろ〳〵の事を分らせやうとするんだわねえ、(酒をのむ)それにお前さんもませた事を言ふんだねえ、それから?

少女。あたし一人ぼつちになつたら小鳥を飼ふの。

女。然う、お友達が小鳥で。

少女。えゝ。それから此お庭へ一ぱい花を植ゑてね、花が咲くと街へ賣りにいくの。

女。花賣娘だね、お伽噺から出たんだね。お前さん位の時にはやつぱり年に合せた可愛いゝ夢をみるのねえ。

少女。夢ぢやないの。

女。あゝ。叔母さんもたんと夢をみるのよ、だけど世の中の悧巧な人達はみんな現實が好きなんだわ。(酒をのむ)あら露ちやんは泣いてるのね、私は死なゝいよ、大丈夫だよ。まあお前さんの涙のたまつた眼は姉さんにそつくりだわ――露ちやんや、お前さんの母さんはそれは〳〵美しい女だつたの、譯があつて叔母さんは子供のうちは一緒に育たなかつたの。それで母さんがお前さんを生んだ年に始めて逢つたのよ。けどその時にはもう狂つて居たの、逢ひたい〳〵と口癖に言つて居た想だけれど。私の顔をみても分らなかつたのよ妹さんですよッて側の人達も言つてくれたけれど、蠟細工のやうな綺麗な顔して、私の手をとると「看護婦さん、赤さんは悳して?」つて聞いてにつこり笑つたの。まあその時の寂しかつたこと、神さまは私にいゝ謎を下すつたと思つたよ。(酒を飲む)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少女。あたしの母さんはやつぱり叔母さんに似てたでしよう。

女。あゝ。けれどねずつと優しい女だつたの、だから男を恨んで狂つちやつたの。

少女。ひとつて誰なの?

女。それはねえ、御殿のやうな立派な處にいらつしやる方だよ。露ちやんお前さんは大きくなつても誰も戀しがらないんだよ。一番強い深切な神さまがいつでも、露ちやんをみていらつしやるから、お前さんは強いのよ、ちつとも寂しかないのよ。

少女。神さまは何んでもきいて下さるの?

女。あのね、人間の力で出來る事はみんな自分でしろと仰るの。只もう何んの力も及ばない時に、神さまは一番強い味方になつて下さるの、分つて?

少女。えゝ。

女。露ちやんは分るね、いまにきつとよく分るね。(酒をのむ)もう叔母さんは夕がたいつ迄も手紙書いたりそれから露ちやんを一人ぼつちでお留守番なんぞさせなくつてよ。いつも斯うやつて側に居てあげてよ。きのふ迄はお前さんの事を考へる暇もなかつた。その癖あの人も私も死ぬ事も出來ない、狂ふ事も出來ない寂しい人間なんだわ。

少女。ようお酒のんぢや厭あよ。

女。あゝ姉さんのやうに狂つて死ねる人は羨ましい。それにしても意志の弱い男ほど憎いものはない。社會の位置や名譽の爲に誓ひを破つたり、一寸した行違ひから姉さんをあれ程殘酷に取扱つたりして、その揚句姉さんが狂つて了つたら、急に世間の手前が恐ろしくなつて、邸へ引取つて奥様だの戀女房だのと大切に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する。それ許でなく赤ん坊を無理に引離したあの姑までが、鬼のやうな顔に愛嬌づくつてちやほやする。權勢に誇る人間なんぞに、眞實の人情の分りやう筈がない。可愛想に姉さんは狂つた後迄も、彼人達におもちやにされて了つたのだ。「姉さんは仕方がありませんけど、この赤ん坊は私が育てます。あなた方のやうな淺ましい人達の處へは置かれません」といきなり抱へて歸らうとした時「彼女も氣違ひですね」とあの姑があびせ掛けた。あの時の事は思ひ出しても震へる程悔しい。私は神樣に私の青春を捧げて必らず此子一人を育てますとお誓ひした。ほんとに露ちやんは彼人達に對しても、立派な氣高い女に育てあげなけりやならない――それなのに私はいつか知らずあの人と戀し合つて了つた。時々は露ちやんつてものが恨めしいやうにも思つた事がある、ごめんよ、ね、ごめんよ。

少女。叔母さん、恁したのよう。酔つぱらつて了つたんでしよう。

女。酔ひなんかしないの。叔母さんはこの夕がたが過されないのよ。もう私には永遠に夕がたが來なけりやあいゝと思ふのよ。あゝ私には露ちやんが附いてゝ死なせないし。それからあの人には功名心といふものが附いてゝ死なせないし――けど死ねないからこそお互ひに好きにも成つたんだわ。だから生きてゝ死ぬ程の事をしましようと誓つて、ゆふべ別れて了つたんだわ。

少女。叔母さん、叔母さん!

女。いゝ、ひよつとすればもう一生逢はれないかもしれない、逢はれない方が幸福なのかもしれない。死ぬ瞬間迄もゆうべの氣持で居られるから――

少女。ねえ叔母さん。酔つちや厭あよ、こわい眼しちや厭あよ。

女。あらあの森の中で誰かゞ笑つてるわ、露ちやん――お前さんは叔母さんと死んで呉れない?

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少女。厭あよ。厭あよ。誰か來てよ、あたしこわいわよ。厭あよ――

女。…………………。

少女。森なんぞみちや厭あよ。

女。ほゝゝゝ。みんな嘘よ、嘘よ、叔母さんはやつぱり醉つぱらつたのよ。ごめんよ、惡かつたわねえ、でも飲まなけりやあ此夕がたが過されないのよ、意氣地なしだわねえ、（急に袂を頭にあてゝ）露ちやんごらんなさい、叔母さんの眼からこんなに涙が出てよ、可笑でしよう、ほゝゝゝゝ（少女、女に抱きつく）あゝお前さんは一番可愛いゝのよ。私はねえ、何んでも自分の考へる通りの事を、ちやんとやつて置き乍ら、自分ぢや滿足して居ながらどうしてこんなに、悲しいんでしよう。をかしいわねえ。

少女。醉つちや厭あよ。

女。あゝ…………。（夕闇次第に迫り來ろ）

（大正三。一〇、一〇。）

▲杏の落ちる音（高濱虚子氏作）

▲無用語（安倍能成氏著）

▲ポオラ（ヒネロ作）シヤントクレール（ロスタン作）（加藤朝鳥氏譯）

前二者は、日月社發行文藝思潮叢書の第十篇及び第三編にして、後者は同社發行梗概叢書の第十二編である、何れも取り〳〵に面白く有益である。多忙にして靜かに讀書するの時間なき人人は、此の叢書によつて寸暇を利用し、知識と趣味の收穫に努力すべきてある。（定價各册十錢

東京神田佐久間町四の廿三、日月社）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の職業問題

佐治實然

一

私は婦人はドウしても獨立して、所謂獨身生活すべきでない。相應な縁を求めて結婚すべきが義務天職であると考へる。從て職業に就ても、さう云ふ上から考へるから、婦人の職業問題に就ての私の意見は、世の婦人問題を云々して居る人達の意見と大分違ふだらうと思ふ。私の意見は、古過ぎるかも知れない。さて曹洞宗の開山、承陽大師の言に。

高所は高平、低所は低平

と云ふのがある。ソレから接して來て。

凡てのもの、其の位地に居らば、自然の風光を發揮して一人前のもの、宇宙間に大もなく、小もない。

と云つてある。承陽大師は何時も此の見地から話をした人で、禪宗では、僧侶が百人も二百人も集まつて修行して居る場合に、堂頭和尚と云ふ臺所で皆の食事の世話をする者でも、會衆全體の取締をする典座和尚でも、各一人前の役前で、高いも、低いもないとしてあるのである。

丁度其の樣に、女は女で一人前、男は男で又一人前、各其の一人前たることを威張つて居ればよいと思ふ。今日の行き過ぎた議論は、お互に短を擧げると云ふことに、なつて居りはせぬか。例へば尾崎行雄氏は政治家として大變名譽のある人だが、さて金のことになると、彼の人の裏書で三百圓でも五百圓でも貸す銀行は滅多にない。所が名譽から云へば、殆んど無い。町内でしか名前を知つたもの丶ない、伊勢屋とか、相模屋とかの主人も、金錢のことにな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると偉いもので、其人の裏書で、一萬、二萬と云ふ金が苦もなく動く。此の兩方が互に其の短を擧げ出すと、ドチラも全く價値なきものとなつて了ふ樣に男女互に其の短を擧げ合ふと云ふことは、善くないことでありはせぬか。

所謂個々、壁立萬仭である。名々一人前であると威張て居れば、男子が女子を壓迫するとか、女子が男子の職業を奪ふとか云ふ風の心配はなからう。

女の天職は何にか、矢張り相當の年齡になると結婚して、極めて丈夫な子供を產み、之れを健全に育てるにあると思ふ。是れは女に恥づかしい仕事ではなからうと思ふ。男の天職は何にか、一家を支へる丈けの收入の道を計るにあると思ふ。斯く各自其の分を盡すことが天下泰平の土臺であると考へる。

尤も男にも女にも例外の男や女がある。男の中に全く女に關係しないで、社會の爲めに盡す人があつても、構はぬ樣に、女の中からも、少し突飛な政治運動位するものが出て來ても構はぬ。此の例外の人物の出て來ることは寧ろ面白いことで、何んにも喧しく云ふには及ばぬ。

二

例外の婦人に就ては別として、私は茲でモウ少し前に云つた當り前の女、年頃になると結婚する婦人達に云ひたいことがある。

大體日本の家庭で、女が男に壓迫されて居るのは例へば節操問題にしても、女の方にばかり喧ましいと云ふ風になつて居るのは、女子が餘りに藝を磨くと云ふことに無頓着な爲めであると考へる。其の證據に、今日でも女に十分內助の功ある家では、女にも相當の權力があるのが、常ではないか、成程今日男女の勢力の不平均なのには、法律の不備、社會の制裁等の關係もあれど、又女の餘り見劣りする爲めではないか。

私は之れからの女子は、必らずしも職業の爲めにでなく、大に藝を磨かれんことを希望する。電話交換手や女事務員になつて見た所で、初め日給が二十

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

娘時代 妻時代 母時代を通じて 女一代終生の味方として

「家庭に備ふべきはただ本書あるのみ」

産科婦人科醫學士 土岐卯吉先生閲

産科婦人科ドクトル 兒玉修治先生
東京産婆學會主任 酒井恒子女史
共著

妊娠と安産

最新刊

四六版洋裝 美本全一冊 金七拾五錢 郵送料金六錢

子寶有る人、無き人、及び將に結婚せんとする男子、婦人の必讀すべき最良書也

本書の内容は、生殖の原理、特種の生殖、兩性の起原、性欲と戀愛、戀愛と結婚、結婚の要務、年齢と血族の害、處女の破瓜期、月經時の異常と日數、生殖器の感覺、受胎衛生、適度の情交と過房、禁交の時、妊娠の時期、遺傳と疾病、胎敎と親心、良兒を得る法、不妊娠と婦人病、男女不妊娠症の療法、妊娠に關する傳説、婦人の生殖機能、妊娠の徑路と分娩期、子宮と胎兒及び男女の區別、身體の變化、氣候と妊娠、妊娠中の養生、惡阻の手當、便通法、衣服と腹帶、脚氣其他の手當、妊娠中の同衾、夫婦別居の日數、早産流産の手當、安産の秘訣、出産の諸準備、分娩時の心得、産婆の取扱事項、産後の心得、臍帶の截法、初湯の使ひ方、マクリの害、初生兒の授乳法、命名と出生届、子宮の收縮期、産時の創傷と産褥熱の注意、母乳禁止の場合、乳母の撰擇、斷乳時と其好機、育兒法、小兒病應急療法を初め、如何にして妊娠をなし、如何にして安産すべきやを醫學上と實驗上とより何人にも解し易く詳述せるものなり。

發行所 東京市神田區表神保町十五 振替口座東京二四八五九番 文雅堂書店

帝國貯蓄銀行

銀座二丁目河岸通(電話京橋 八一一五 八一一六 三一七四)

飯倉支店	飯倉三丁目
赤坂支店	赤坂表町
四谷支店	四谷大通り
本郷支店	本郷一丁目角
神樂坂支店	牛込神樂坂上
吾妻橋支店	淺草花川戶
須田町支店	神田須田町
兩國支店	兩國元柳町
品川支店	南品川一丁目
橫濱支店	橫濱戶部町
代理店	日本橋坂本町田中銀行

◉一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◉毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

院長診察　宅診午前　往診午後

醫員診察　午　後

鷲山改め　女醫　吉岡彌生

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

ニコ〳〵倶樂部移轉御披露と日比谷寫眞館がニコ〳〵寫眞館と改稱の御通知

我ニコ〳〵倶樂部は、御蔭を以て日に隆盛を加へ、從來の建物にては狹隘を感ずるに至り候まゝ、今回、左記の處へ移轉仕候に付、今後も、相變らざる御眷顧を奉希候。尙日比谷寫眞館を自今ニコ〳〵寫眞館と改稱致し從前の如く營業仕り候へば日比谷公園への御散策、帝國ホテルの御中食、大神宮への御出ましには、是非御枉駕御用仰付被下度、奉待上候。敬具

麴町區丸の內有樂町三ノ三（帝國ホテル前）電新二五二五番一三三三番

!! 雜誌『ニコ〳〵』發行所　ニコ〳〵倶樂部

!! 日比谷寫眞館改稱　ニコ〳〵寫眞館

理事兼支配人　松永敏太郎

尙晋ニコ〳〵寫眞館の**一時間寫眞は三枚一組僅に一圓**にて非常の好評を博し居候間是非御試みのほど希上候尙聊か祝意を表する爲め當分**割引景品進呈仕候**

婦人の天職

▲健兒を擧ぐる事は婦人の天職の主たるものであるが常に月經不順、子宮病、ヒステリー及其他の婦人病諸症に惱まされて居ては覺束ない

▲ホシ血の道藥は最も進歩したる處方に依る製劑で婦人科專門の諸大醫が實驗の結果其偉效を賞讃せる無二の良劑である

▲婦人病諸症に苦しむ人は速に本劑により健康を恢復して健兒を擧げねばならぬ

▲殊に子宮病内膜炎、子宮加答兒、子宮炎、其他白帶、赤帶等子宮及室内の炎症糜爛には更に婦病自宅療法の爲に創製したる插入劑ホシ婦人座藥を併用する時は如何なる難症も全癒するのである

全國特約店にあり

定價
ホシ血の道藥　十錢　三十五錢　六十錢
ホシ婦人座藥　二十錢　五十錢　一圓

資本金百萬圓

東京京橋區南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京橋特一七八五番
振替東京二〇五二二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五錢で、三十歳までも辛抱してやつと月給が二十三圓位、四十五十まで辛抱しても百圓の月給取りになれない。東京市に小學教師八千人、其の内の四分は女子であるが、其の内三十圓以上の月給の女教師は極めて少ない。ですから、女子にはなまじつかに給料でも取らねば、職業がないと思はないで、思想もあり、技量もある樣になる爲めに、少なくとも高等女學校位卒業した上に、家庭の仕事は何んでも出來ると云ふ嗜みがあつて、立派に家庭の女王としての位地を保てる樣に、なつて欲しいと思ふ。

又今の女子の中には、虛榮の爲めに、音曲だとか茶の湯だとかを稽古するものが多いがソウ云ふものは成る可く後廻はしにして、家庭でも必要である、夫に死なれた樣な場合に力になる、裁縫の樣な藝を覺えて置いて貰ひたいと思ふ。

更らに又、財產のある所へばかり行きたがつて、氣に入つた男と一緒になつて、大に奮闘しやうと云ふ女子の少ないのは、目今の弊風であると思はれる。

秋の夜、ひとり歌へる

坂本正雄

秋の夜に友の手紙をとりいでて讀まむとすれば涙出にけり

恐ろしきいましめごとを聞くごとき思ひして立つ白壁のもと

ちかごろは何とはなしに日に三たび四たびもわれを省りみるかな

ふるさとの父のことなど忘れえでこのごろ夜も眠られざりけり

ちゝぎみが希望に充ちて植ゑおけろ梨も林檎も落葉しぬらん

母ぎみの墓の御前にひざまづき泣きたりし日も昔となりぬ

よき心うかびてもまたともすれば忘りし日のふるさとの夢

わが父も六十路に入りぬいかにしてわれ如何にして父を慰さめむ

いつになればわが父ぎみによろこびを充せまつらむ日を迎ふるか

どうやらに都に立ちて筆もちて身を動かして生活するなり

おほかたは人の爲にと働らかむその滿足をわが爲にして

故しらずかなしき時は山内の木立に立ちて天をながむる

わが業の成らむを希ひはげましていましめて行く人もあらなくに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

關　早蕨

……………私是から一生懸命に勉强してどうか立派な女になりたいと思つて居ます。本當に何もわからないのですもの、私はあなたを失禮ですけれども姉樣のやうに思つて居ますの。どうぞね妹だとおぼしめして是から、御導き下さるやうにお願ひ致します。多分明後日の午後御伺ひする事になるだらうと思ひます、それではそのせつ

かよ子

昨日の朝受取つた文の終りの方を喬子はまたひらいて讀んだ。徐かに卷いて封筒に納めたが自分の唇に自ら微笑が浮んでゐるのに心づくと忽ち例の自問を始めた。何故私は微笑むのだらう？　かよ子さんが無邪氣な手紙を書いたのが可愛かつたのだ――が、確にそればかりだらうか？――確にあまり無邪氣過ぎるからだ――そればかりだらうか？――如何してこんなに無邪氣でゐられるのだらうと思つたからだ――それに違ひないが、其中に、呑氣なものだといふ樣な心もちが交つてゐた。さう〳〵其處が根本なのだ。私はいつもかよ子さんの眞直な純な無邪氣な美くしい心を思ふと自分が少しひけをとるやうな心配さへ添ふ位、尊敬の念が涌く、而して自分の心までが透き徹るやうに淸くなつて、何物もいらなくなる。何でもやつてしまいたくなる。姉心になる、親心になる、而して胸が淸々する、それはかよ子さんに對する私のしかたが、自ら僞つてゐない事を充分に證明してゐる。それ程尊く思つてゐるあの人の無邪氣といふ事に對して私は何やら侮りに似たあるものを心の何處かに浮べたのはそれは一體どうしたのだらう？　私は彼の人を尊敬してゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のだらうか馬鹿にしてゐるのだらうか、如何に極端と極端は中で相逢ふものだと云つてこれは一つにならない事だ――それにしても自分は本當にどの程度までかよ子さんを愛してゐるのだらう、あの人の爲にあの人を愛してゐるにちがひないのだらうか――こゝまで考へて來て、喬子はふと自分の事にかへつた、それは此間、ある病院に入つてゐる友の室で落ちあつたかよ子の夫と歸りみちを電車の乘り場まで二丁程一緒に來て思はずきいた面白くない言をまざ〳〵と思ひ出したから、

『それはちやんとかよ子に話して置きましたよ、何んて？　つて喬子さんといふ人は我々のやうに極めて自由な立場に於いて結婚したのではないから緒方君が生きてゐた處で實に同情すべき點は多い。それにあんな不幸な事になつて、子供はなし、兄弟はなし、それで僕はどうしてもすべての事の相談にあづかつて及ばずながら力になつてあげなければならぬといふのは使命だとさへ思つてゐる、それだから今後あなたも姉妹のやうに思つてといふ樣な風にですよ』

覺えてゐるまゝ其言を喬子は心に繰り返して見たが、人を馬鹿にしてゐると、思はざるを得なかつた、ああ間違がつた！　間違つた！

私はこの侮辱を損失をどう償つたらいゝだらうと、喬子は殆んど聲を出して云つた、喬子はかよ子の夫がかよ子に向つて。

喬子さんは實に氣の毒な女だから僕が力になつてあげなければならない。僕とあなたと結ばつた心の中から溢れて出る愛の泉であの人を潤ほしてゆきませう、抱いていつてやりませう』などといつてゐるのを聞くやうに思つた。

『私達には戀はない、戀より上の永遠の生命ですべての物を生かしてゆきませう。此二柱のもとから湧く愛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の泉で、あなたの家庭の人々は勿論、この人のよの中を限もなくひたしてゆきませう、萬一僕が家庭を持つたら、それも一つにそのうちに大きく抱ひてゆきませう』といつか喬子に云つたやうに、

喬子は心で獨語した。いはゆる戀の移り氣なら。また赦す事も出來るけれど、これは赦せない、赦せない、一度大神の壇に捧げた燔祭を自分勝手にそつと下してまた他の神に捧げるのだもの、どうして赦す事が出來やう、それも自然に來るべきものが後から來て必然になつた事か、あなたの同意しない人は僕は斷じて娶らないなどと、彼の云つた言に私の良心は覺されて極端に自分を捨て、他人と感情の衝突をあへてしてまで結ばるやうに盡力したその緣がその果が――疎外されて、友にうられて、私はどうして耐へられやう、男らしくないのは彼、氣の毒なのは、かよ子さん、甘い言に醉されて、何ひとつ疑はず二柱の十八番も自分ひとりが初めて聞く嬉しい言と思ひこんで滿足をしてゐるのだらう。私たち女は、卑しいさもしい利己主義から同性をうつてはならないうらぎりしてはならない、少くも私はそんなものぢやない、あのイブセンの鴨のやうに第一義的にゆく事が、眞實の平和の基と自ら確信さへ出來たなら私はすべて明かにする爲に、彼から受けた數十通の手紙を、かよ子さんに贈物とする、女性は女性同士ではないか、而してかよ子さんに自覺させて自ら高く保たせると同時に女の權威を、彼に認めさせなくてはならない、けれどそれはかよ子さんには堪へられまい、顏さへしらぬ人同志を、私自身が（自ら因緣の糸はひいてゐたとしても）ひきあはせて、結婚させた事によつてかよ子さんをそんな苦しいめにあはせるといふ法がない。そんな悲慘な事をする罪の責は負ひたくない。私はたゞかよ子さんを愛する爲に、それ丈の爲に默つてゐる、その悲哀を他に見る丈の『我』と『勇氣』とが私にあれば彼の心を破つてやる。

こゝまで來て喬子は再び自ら問ふた、私は何をさう怒つた？確にかよ子さんの爲ばかりに是ほどまで怒つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのか？萬一彼がかよ子さんに私の事を何とも云はず、そつとしておいたとしたら――それでも私は怒つたらうか？『二人の愛で喬子さんを抱擁してゆきませうと』云はなかつたとしたら――喬子はまたわからなくなつた、かよ子さんが何も知らないで彼からも私からも妹のやうに愛されてたゞそのまゝで異もなく滿足してゐるとしたら、ゐたとしたら、それで私は何も考へさせられないだらうか、二柱の立場所が私の方にあつたら何の問題も起らなかつたらうか？それなら矢張利己主義だ、利己主義だ、利己主義だ、私が彼と他の人の間から湧いた泉で潤ほされるのがいやならばその人も又その筈だ、人の上ならば腹が立たなくて自分の上なら立つといふのが利己主義でなくて何だらう、嗚呼人間はどうしても人を殺すか自分が死ぬか、人を生かすか自分が生きるか、兩立する事は出來ないのか、そんな處は超越して――といふのがすでに自分を立てる事ではないか、超越も出來ないか、それなら自分を全然捨てゝ、捨てるといふのは卽ち天から得させられる事だ、得る事と知つて捨てゝは天に拾うて貰はうと思ふ慾深い心だ。

いらない、いらない、何もほしくない、得ないで捨てる法はないか、こんなに考へ詰めて來た喬子は、世の中がせまく、きたなく、厭はしくなつて來た、可愛いものも好きなものも何から何まで面倒臭く厭はしくなつて來た、喬子は物狂ほしいやうになつて机の前に坐つたと思ふと、バイブルをひらいて何處でもかまはず、無暗に讀んだ、長い間身動きもしないでゐたが、やがて

『わかつた！ニイチエの中にキリストはないがキリストの中には完成したニイチエが見える』と叫ぶなり、立つて丸窓の障子をあけた。

秋の日の甘い樣な光線が木犀の香と共に座敷の中へ流れ込んで來た。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女の純潔を理想とする會の必要

西川光次郎

（一）

青年男女をして、色情の爲めに身を過らざらしめんとするには、第一に、

自轉車を買うても、之れに上手に乘れる樣になるまでは、反て我が身を害することがありなどして、之れを眞に所有するとは云へない。鐵砲を買つても、之れを適當に使用することの出來る樣になるまでは、反て我が身を害しなどして、之れを眞に所有するとは云へない、丁度其の樣に私共の内にある諸慾を制御することの出來る樣になるまでは私共は下手な人の手にある鐵砲や自轉車の樣で、何んの用をも爲さない、であるから私共は先づ慾を制御する意志の力を強くせなければならない、殊に色情に於て人は過ち易いのであるから之れを制御することにより多く力を致さねばならない。

と說いて、彼等自身の心の中に誘惑に克つの力を増大せしめねばならないのは無論である。

（二）

けれども之れ丈けでは充分であるとは云へない、私は第二に男女の純潔と云ふことを、目的とする會を拵る必要があると思ふ、純潔な男子とでないと結婚しないと云ふ婦人と、純潔な婦人とでないと結婚しないと云ふ男子と、及び純潔な男子でないと娘との結婚に賛成しないと云ふ父母とで、男女の純潔會を組織し次第に會員の増加を計つて行けば、内にあつては會員たる青年男女をして、色慾の爲めに身を過ることなからしむると共に、廣く會員外の青年男女にも感化を及ぼすことが出來ると思ふ。

私は十六、七、八歳頃の、何んでも、大人の眞似を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したがる時代に、基督教會に接近し、酒の害や、煙草の害や、其他のことを耳にして居たことが、力になつて、ドレ丈け悪い習慣が付かずに來たか知らぬことを、今でも感謝して居るが、其の經驗よりして青年男女をして、色慾の爲めに身を過らざらしめん爲めに、男女の純潔を理想とする會の必要を切に感じます。

又一人の純潔な人のあることが、其の周圍の人々にドレ丈け感化を及ぼすか知れないのですから、此の意味からしても、男女の純潔を理想とする會の必要を切に感じます、プローニングの詩に

多數者の模範になる人物は、其の多數者凡てよりも尊い。

とあるが、全く左樣である。

（三）

此の會では又、結婚の理想の向上と云ふことを計りたい。金のある婦人と結婚したがる卑劣な男子や男子の收入を結婚の第一條件とする樣な心の腐つた婦人を排斥したい、結婚は人格の結婚であることをドコまでも主張したい。せめて夫婦の間に丈けは理想が最高の權威であつて欲しい。結婚にまで掛引や打算や虛僞がある樣では、モウ人格の徹底的破產である、今日結婚の理想の恐ろしく低くなつて居るのは、人格の徹底的に破產して居る人が多からです。

（四）

一旦過つても、改めんとの心あるものは、元より此の會の人たることが出來る。之れより此の會の目的を我が目的としたいと眞に考へてる人ならば、其人の過去に罪のあるとないとは、問ふ所でないのです。此の會の目的は未婚の男女の純潔を助くるにあると共に、結婚の理想を高め、過つた結婚をして居る人々や、現在恥づべき仕事をして居る婦人達を新らしき生命の門に導き、更に純潔は男女同標準ならざるべからざる所以を說いて、不品行な男子に三百の痛棒を加ふるにありたいのです。職業婦人が增加すればする程當人も其父母も斯樣な會を必要とする譯ですから、私は斯かる趣旨にて男女の純潔を理想とする會の組織さるゝことを、衷心より希望します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

池の主

（井の頭池の傳説）

中尾清太郎

近頃井の頭に遊んで、池の辨天祠を見おろす大盛寺前の崖の茶屋に休んだ時、三十餘りの其處の上さんから面白い池の傳説を聞いた。

何十年か何百年か知らぬ昔、此處から程もあるまい北澤(村)のサンネさんと云ふ分限者夫婦が、子の無いのを悲んで、辨天樣に願を掛けて、儲けたのが女の兒、行末辨天樣になるべき縹緻があつて、兩親が、愛し慈しんだのは言ふまでもない事、此『申し子』は、十六の歳まですくすくと育つて、日に日に美しくなつて行つた、其年の四月八日、花御堂を飾るべき日に、親夫婦は娘を連れて、辨天樣へお禮參りにと出掛けた、さて娘は辨天祠の畔まで來ると、ぢつと水の面をみつめてゐたが、ひらりと身を躍らして、池の中へ飛び込んだ。親夫婦は驚いて、水の中を差し覗くと、娘の美しい姿は消えて、白い蛇が游いで行くのであつた。

それから後、四月八日は娘の命日と云ふので、辨天樣の其日はサンネさんの營むところであつたが、サンネさんは娘が亡くなつてから痛く身代を惡くし池の祭を營めないやうになつて、それはいつか村の祭りになつてしまつた。

私は此話を面白いと聞いた。娘は辨天樣で、この池の主であつたのだ、十六の歳までは風にもあてられず、雨をも厭うて、外へさへ出さずに育て上げた兒が、一度池の畔まで來ると、ふと氣が變つて、自分の故郷へ歸るつもりで、身を變へて水に飛び込んでしまつた。丁度月の宮の赫奕姫が八月望の夜、美しい月の光を見てゐると、急に父の家が懷しくなつて、月宮殿へ舞ひ揚つたやうに、井の頭の辨天娘は四月八日、こゝの池の畔まで來ると、故郷戀しいの感情に燃えて忽ち水に沈んだのである。

私は此話を聞いたので、更に大盛寺の和尚を訪ね

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、何か此上の面白い事はまるまいかと、念頭に申し入れると、そんな事は世間で言ふか知りませんがみんな取り止めもない風說で、昔から此池に人の沈んだ話などは全くありません、とすつかり打ち消してゐた。

けれども後の人が、之を記念する爲めの蛇體の女の童の石像は、此茶屋の前に近く建てられてあつて今も辨天の祠に參り來る人達を、蓮座の上から靜に眺めてゐる。

註　井の頭池は神田上水の源で、江戸市民は之に依つて命の玉の緒を維いでゐたばかりでなく、之に依つて彼等の意氣をも養つてゐたものである。當時彼等が口癖のやうに、『水道の水で産湯を使つた兄哥を知らないか』と嘯いたのも、此井の頭池あつたゆゑである。井の頭へ行くには、甲武線に乘つて、吉祥寺驛で降りれば、三町許のところである。近く東京市は此處を郊外の天然的大公園にしやうと、既にいろいろの計畫が熟してゐる。

日本婦人の將來

新渡戸稲造

私は日本にはまだ女がないと思ふ、成程外の國の女に身體の構造の似て居る一種の器はあるが、其の器はまだ女になつて居ない。殊に將來の女は居ない。居るのは過去の女卽ち化石の女と、現在の女卽ちクラゲの樣な、ものになつて居ない女があるばかりだ。ソレだから將來の日本婦人は先づ第一に女とならればならない。

日本には妻と云ふものはある、母といふものもある、娘と云ふものもある、けれども女と云ふものはない。今日の日本の女子教育が良妻賢母を主義として女を無視して居る、良妻賢母を教へて、女一匹に就ては教へない。今日の女學校では十二三の女子に既にお母さんになることを教へて居るのである、今日の教育で育てられた女子は早くお嫁に行かぬと浮ぶ瀨がない。或有名な人が女學校の卒業式に招かれて演說した時、良妻賢母主義を褒めたゝへて、善は急げだ、なんでも早くお嫁に行くに限ると云つたとの話がある。斯く今日尙ほ女は云はゞ附屬物として見られて居るのである、女に獨立の地位がない。けれども日本の婦人も何時までも此の儘には居ない、否既に獨立の女とならんとするものが殖えつゝあるのである。

私は知らぬ人から澤山手紙を貰ひますが、殊に此の頃は若い婦人から奇々怪々な手紙を受取る。例へば、或婦人から、私に親の定めた婚約の男があつたが、其の男は東京で遊學中放蕩をして惡病にまでかゝつた、ソレで私は其の男と結婚するのがイヤになりました、云々と事情を告白しての相談です、昔であると此の女は何んでもかでも婚約の男と結婚せなければならなんだのであるが、今は既に事情によつては、良妻も賢母も辭職する婦人があるに至つて居るのです。次に又或婦人から、私は可なり財產ある家の娘ですが、人格の高い男子とでないと結婚しないとの量見から、度々兩親のすゝむる結婚を拒みて後、一人之れは人格が高いと思はるゝ男子を見付けて結婚の約束をしました。所がいよ〳〵となると其の男は、持參金はイクラだと云ふ、私は驚き且つ非常に失望して約束を破つて了ひました云々との手紙を受取つたのである。僅か僕の所へ丈けでもカウ云ふ手紙が幾本來るか知れないのを見れば、私も女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一匹である、附屬物たるには滿足しないと云ふものがダン／＼出來つゝあるとが知れる、之れが第一に見ることの出來る傾向である。

女と云ふものが出來たら、之れが又、進歩乎退歩乎知らないが、兎に角、其の儘には居ないで今度は男になりはせぬか。勿論解剖學的、生理學的に云ふのではない、社會上、倫理上、經濟上から云つて、女が男の如くなるに至りはせぬかと云ふのです。之れも既に其の傾向が見えて居る、此の點に於て最も進歩せるは米國で、他の國に於てもサゥなる傾向が見えて居る。

歐羅巴の女を見たまへ、一寸見ても固さうぢや、身體の態度に男女の區別が餘程なくなつて居る。或人が帝國主義と婦人と云ふ本を書いて、帝國主義の國では女がダン／＼醜なると云つて居る。實際英國などでも、花の如き婦人がダン／＼減つて、松の如き婦人が殖えて行きよる。一體男女の區別が斯くまで甚しいのは自然の結果ではない、人間が多年かゝつてカゥしたのだ、男は肉食、女には肉食をさせないと云ふまでにして、斯くも男女の身體に區別あるに至らしめたものだと、人類學者は云つて居る。日本にも尙ほイクラカ其傾向はある、女は芋ばかり食つて居る。私の子供の時、餘程の事がないと、母は父と同じものを食つたりはせなかつたものである。けれども今では若い夫婦など、全く食物に區別のないのが多い。此の女が男となりつゝある傾向も――私は善いと云ふのでない、善惡は兎に角――既に見えて居る。

女となり、男となり、ソレで最後か、否、ソレから人となると思ふ。

實は日本では男もまだ充分人にはなつて居ない。吾々は臣民である、國民である、國民となれとは敎へらるゝとも、人間となれとは敎へられない。僕は忠君愛國は惡いとは云はないが、忠君愛國でお仕舞ひか、其の上に人となれと敎へる必要はないかと聞きたい。此の意味に於て婦人も將來人となるであらう。

女となり、男となり、次に人となる、此の傾向は既に見えて居る、之れが進むべき順序であるならば、サウするより外はない、之れを逆にしやうとする反動は惡い。

(十一月八日統一基督敎會に於ける講演中の一節)

道德上男女の平等

浮田和民

日本に婦人問題の研究が始まつたのは、何年頃かと云ふに、明治六年からである。同年福澤先生、西先生などによつて始められ明六雜誌に於て、男女同權論が論議されて居る。

婦人問題の研究は斯く早くから始まつて居るが、まだ日本には婦人問題あるも、婦人運動がない、青鞜社や、新眞婦人の運動は、婦人運動とするに足るや否や。尤も研究の方は非常に盛んになつて來て、今では兩性問題に關する著述も飜譯も澤山に出來て居る。

此の明治六年に始まつた男女平等論が、今日までかゝつて、敎育上では、小學敎育は男女平等、高等女學校があるから、中學程度の敎育も男女平等、コゝまで進んで來て居るが、ソレ以上になると、男女平等でない、併し早晩大學敎育も男女平等となるであらう。將來婦人參政權の問題が喧ましくなつて、政治上男女平等となるの時もあらう。けれどもソレはまだ大分先きのことで、今日最も必要なるは、道德上、男女の平等と云ふことである。

男子の人格は女子の人格と同時に平等に進むものであるから、男子の玩弄に甘んずる女子のある間は、男女ともに、其の道德が進歩しない、されば男子の道德を進めるには女子の道德も進歩せしめればならない。

(十一月八日、統一基督敎會に於ける講演中の一節)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『生の悦び』を讀む

ゾラ著　中島孤島譯

西川文

女主人公ポーリヌが子供時代から、青春の娘になる時に、何處も彼處も腫れた程に、張り切つた緊張の想に苦しめられ、柔かい毳毛が肉體の隅々まで生えたのを瞥り偸み見ては、不思議な混亂と不安とを覺え、聲の底深い調子を帶びて來たのに、自分ながら不愉快に、恐怖と絶望の苛々した心持ちになり一種の熱病やみの樣になつた時、丁度從兄で醫學を研究してゐたラザルが戸棚にしまつて行つた、生理學、解剖學を讀んで、世間の娘等には結婚の當夜まで秘密にされてゐる事柄の知識をも得て了つてからは、一日増に生を愛する心が深くなり、動物の母になつた樣な氣分になつて、却つて自分の發達を見て其の充分な發育と美くしい成熟に達したと云ふ悦びと勇氣とに身を震はせる程になつた。底深い聲に對しても充實した身體を見廻しても、新らしい女の息を花の香をかぐ樣に懷かしみ、以前の嫌惡も恐怖もすつかり失せて、反對に健康な健全な生の充實を悦ぶ樣になる、此間の身心の變化がよく書かれてある娘自身の内部に起る恐怖時代と、落付いて了つて夫れを悦こぶ樣になつてからの娘らしい氣分に身を裝ふ時代との變化は外部から見ても著るしく分るおもしろい現象である。昨日までまだ全くの子供に見えたものが一人前の娘らしく見えたり、陰にかくれて居た樣な人が、誇りかに華々しく振舞つたりする。私は嘗てから此の間の消息を書いて見たいと思つてゐたので、茲を一番面白く讀んだ。

　男主人公のラザルは母のシヤントー夫人の虛榮私慾の爲めに、高位高官名譽金權を得る樣に希望され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自己の志もそこにありながら、旅大工の祖父の遺傳をうけて多藝多趣味ではあるが移り氣が多くて、新らしい計畫に對して一時は非常なる熱心をもつが直ぐ興味を失ひ何事にも失敗する。音樂から、醫術、藥劑師、事業家、政治家と移り移つて行く。馬鹿ではないが、決して一事に成功しない。出來損ねの天才肌の性格を如何にもよく顯はしてある。新計畫の都度、ポーリヌも母親も其の失敗を懸念せぬではないが、遂いラザルの辯舌に負かされては同意し加勢するに至る行道もおもしろい。

ポーリヌはラザルを非常に愛慕してゐるが、ラザルはポーリヌを最初は全く妹として、兄妹の情をもち、後には母として姉として慰められ助力せらるゝ樣に感じた。ポーリヌよりは遙かに劣つた弱々しい女々しい綺麗でもないのに、男に助けられなくてはゐられない、又其弱點を以つて男性を牽引する力の強い、嬌めかしい香水の香の高いルイズを戀するに至る。こんな處にも、一般男性の趣向、殊に意志の弱い我儘な獨息子のラザルの性格がよく現はれてゐる。萬事に慈悲心の深い他人を悅ばさう〳〵と云ふ沒我主義のポーリヌは、幾度も〳〵必死の苦痛と戰つて、自己の許婚である權利も、燃ゆるが如き愛情をも犧牲にし、長い〳〵間の期待も打捨て、戀人ラザルをルイズと結婚さするに至る、恐ろしい意志の強い克己の女性である。其の後も兩人の中裁をしたり、ルイズの生んだ月足らずの弱い子を自身の手で育てなどする一寸現代の若い婦人にはありさうにも思へぬ程犧牲的婦人である。夫れ丈けに男性的に思はれて心身共に健全に美くしいのにも拘はらず一寸愛情が起らない。私はポーリヌの樣な婦人は例令偉くとも好きではないと思ふ。又ポーリヌ自身としても一生にどれ丈け損をするかも知れない。他人を慰藉するのが殆んど天才とも思はるゝポーリヌはシャントーの痛風の甚しい時には、其の吼えらるゝのがつらくて、夫人もラザルも女中も皆逃げて了つてゐるにもかゝはらず、ポーリヌ一人は始終寢食を忘

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れてつききつて居る程で、其の爲めには自己の立身出世の旅立も見合せて了つたり、所有自己の幸福を犧牲にしても、人を悅ばす爲めに快活げに愉快らしく生き〳〵して他人を幸にしてゐる。又きたないきたない貧民や盜みをする樣なもの丶子供達にも每週土曜日每に慈善をしてゐる。

死の恐怖に絕えず襲はれてゐるラザルは母の死、愛犬の死、によつて一層病的になり、其の爲めに生の幸福をも味ひ得ないのを、ポーリヌならば勇氣をつけ、勵ましもしやうが、甘へる事しか出來ないルイズにはどうする事も出來ず、絕えず口論や喧嘩をしてゐる、それをどうして自己の力で自己の生を幸福にしないかとポーリヌは不思議に思ふ、けれどポーリヌは單純で、ラザル、ルイズの二人に取つては爭論がせめて生の單調を破ぶる唯一の力だと云ふ事までは解し得られないのである。ラザルとルイズとの結婚はポーリヌやラザルの考へる樣に、二人を不幸にしたものではない、若しも二人が別れて居たならば屹度慕ひつ丶あつたに相違ない。感情と理論とは何時もあながち一致しないから。

死に近きシャントーが痼疾の痛風に切斷さる丶程の痛みに苦しめられながらも生に執着してゐるのに中年の變人ヴェロニクと云ふ頑固な女中が突然自殺したのをシャントーは『自殺するなんて何と云ふ馬鹿な奴だ、氣が違つたに相違ない』と云つてゐるのが大變おもしろい。

要するに、遺傳を中心として、それ〳〵の個性をよく現はしてある深く廣く人生に觸れたもので老熟せる人にも喜び讀まる丶作である。それに譯文が少しもゴツ〳〵して居なくて流暢である事は讀みかければとても終りまで止められないのでも解る。これ丈けのものをかくばかりに譯された中島孤島氏の努力に私は深く感謝する。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙

玉露女

お手紙拝見致しました、相變らず御兩親樣の暖かいお袖の陰に立派な旦那樣に仕へながら、樂しい不足のない朝夕を送つて入らつしやる御樣子、本當に結構で御座います。

扨お美智さんが彼んな事になつてから、絕交してしまふやうに、との御注意、有り難う御座います、貴女の仰有る事は萬々御尤だと存じました。

けれども此世の中の人が一人殘らず、お美智さんに背いてしまつた後でも、私だけはお美智さんを捨てません、私は命のあらん限り美智さんの親友で居る積りで御座います。

今私は親友としてお美智さんの心の中を考へて見て、それを貴女に書き送ります。

美智さんは貴女と同じ樣に名門の一人娘と生れて同じ樣に品性高く才能秀でた美人でした。けれども貴女が二十餘年間苦勞知らずに暮してお出になるに引かへお美智さんの生活は悲劇でした。

柔しい母君と良人とに仕へて花に月に三越に芝居に華やかな日を暮して居る心の奧には火の樣に燃える血と魂が躍つて居て淑ましく靜な姿には煩みと悶えがちり〳〵と押へられて居たのです。

御母樣は行屆いたお方で何時も夫婦してちとお出掛けお出掛け、とお勸めになります、然二人は何處へ一緒に行つた事もない、お出掛と云ふのは出掛けるものぢや無い、と云ふ譯だとお美智さんは解釋して居たのです。

毎日〳〵極つた時間に極つて御出勤なさる、御良人の何等不平不安もない御生活も追々夜遲くなり晝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

間留守になりして參りました。
私は夫一人位の機嫌を取のは譯は無い、取る價値が無いから機嫌を取ら無いだけですよ、だけど夫はあれ以上何事も成し得ない人です藝妓遊びをして呉れるので却て私は助かつて居る、あれで道樂もしないのぢや到底辛氣臭くて堪らない、とお美智さんは笑つて居たのでした。

けれども如何考へてもお美智さんは人格を無視されて居たのでした、美も才もすべての天分を用ふる事も出來ず、埋もれて暮して居たのでした。

其時彼の柳さんと知りました、柳さんは御聞きの通り學位も財產もない一藝術家に過ぎません、地位も名譽もお美智さんの夫よりは遙かに後輩です、けれども男らしい美貌と雄々しい魂の輝き渡つた青年です、嘗て某山中に寫生旅行をした時、連れの友達と二人誤つて踏みすべらして丈餘の斷崖の途中の木の枝に引掛つた事が有りました。

枝は二人を支へるには餘りに細かつたのですが一人ならばそろ〳〵と傳つて行つて幹に賴る事の出來る程度で御座いました、それと覺つた柳さんは君助かつて出世し給へ、の一言と共に手を放つて千仭の谷底に落ちたのです。

柳さんの幸運と其お友達の感謝の誠とに依つて不思議に助かつた後今も左の足に大きな傷が有るのだとお美智さんは喜びに輝く顏をして私に話しました。

大會社の主任法學士の夫を忘れてお美智さんは命の底から柳さんを愛しましたけれど、長い年月それを戀人に知らせませんでした、私が戀ふのは勝手だけれど柳さんにそれを知らせては勿體無いと思つてました、たゞ此世に只一人魂迄打ち込んだ人の有るのを人知れず胸の奧に大事に抱いて秘して暮して居たのでした。

味氣ない時恨めしい時馬鹿々々しいと思つた時は密と柳樣をおもつて唯微笑して居ました相變らず表面平和な日が無事に續きました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けれど火の様な戀のおもひはとう〳〵柳樣に通じました、たゞ不思議に通じました。
何と云ふ事もなく柳樣はお美智さんが好きになつてしまひました、大變好きで堪らなくなりました、柳さんは、姉さんになりませう！と云ふお美智さんの言葉を退けて戀人と呼び度と迫りました、熱烈にお美智さんに迫まりした。
私は柳さんの戀人になる資格は無い、こんな體を戀ふのはお止しなさいと、お美智さんは遠慮しました、柳さんは聽きませんでした、もう〳〵そんな人は知らない、私に戀なんかする柳樣なら私はもう嫌だ、と再び云はれた時柳さんは斷然と諦めると答へました。
而して遠ざかつて行かうとしました、お美智さんは我を忘れて縋りました。
罪も報いも義理も世間も忘れて二人は戀に落ちたのです、嗚呼、とう〳〵あんな事になつたのです。
埋められ押へられ囚はれ虐げられて空しく煩えなやんで居たお美智さんの命は生き〳〵と輝き出しました、たゞ二人、二人住むべき國あらば、と云ふ樣に世にも人にも捨てられてそれで矢張り嬉し氣に胸を躍らして居るのです、嘗て夜更けて醉ひ歸る夫をすまして寢所へ送つた後「お前の仕向けが惡いからだ、大事にしないと罰が當る……」と御自分が定めて與へた夫を氣に入らぬやうな我儘娘では置けないと云ふ積りで叱るお母君のお叱言を冷然と聽き流したお美智さんが柳樣の前に微笑む初々しい心づかひを私は同情の眼で見ないでは居られませんでした。
理智に勝つた貴女と感情の強い私とは違ふかも知れません、私はお美智さんを親友に持つて居る事を耻かしいとも何とも思ひません、恐らく永久にお美智さんを貴女の仰有る樣な淺ましい人だと思ふ事は出來なからうと存じます。
今の日本の結婚制度、夫婦關係が生出した一つの事實として只管にお美智さんばかりも攻擊されないかと存じます、社會に對する目も開かず人間に對す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る智識も淺い少女の内に取定めてしまはれた其夫、原より美智さんの爲め惡かれと思つてされた事では無いのですけれど身分や年齡智識さへ釣合へば適當な緣と稱しで取定めた長上の人々はお美智さんの意氣が理りもせず知らうともしなかつたのが誤りでした、柔しい温和な人よりも雄々しい壓する樣な大きさのある男の胸にあこがれて居たお美智さんの浮かぬ顏色を單に我儘の一言に退けて來て、今初て女らしいしほらしさをあらはしたお美智さんを人非人とのみ一概に云ひ捨てゝしまふ事は私には見て居ても氣の毒でたまりません、靜かに淑ましく辛抱して居た今迄が賢夫人でもなければ、戀に走つた今からが人で無しでもないでせう、僞りの貞淑から赤裸々の眞情に落ちたのが、家名を重んずる御一家の御不幸紳士の對面に關する耻辱と御良人の御怒り、それ等は萬々御同情申上ますと同時にお美智さんの此頃の生活も私は笑顏を以て眺めて居ります。

お互樣に相當の家に生れて人の道を正しく踏むべく育てられた私達は出來るだけ注意して人に迷惑をかけぬやう其名を辱かしめぬやうに暮して參りませう、勿論品性知識の向上に努力して益々修養を積んで參る覺悟で御座います、けれど誤まつて横道へ落ちた人を後ろから嘲笑して其儘に取すまして行つてしまふ事は致し度無いと存じます。

御心易立てに任せて思ひ切つたお返事を申上ました、御氣に障りましたら御免遊ばして下さいませ而して私の考へが間違つて居りましたら何卒御示し下さいますやう御願申上ます先は右迄。さやうなら

編者申す

新らしい考を誰れにも首肯さす樣に、おだやかにおもしろく書かれるのは、玉露女史のお得意で、每號眞に敬服させられて居ます。本號のこの『手紙』といふのも、題は好奇心を引かない樣すが、外面の形式に囚はれた無自覺な人々への送りものとして非常におもしろいものです。少し餘白がありましたから蛇足をつけました。

婦人の美容法研究に就いて

小口 みち

私は前後八ヶ年の間、常に毎日かなりの年頃の御婦人に接して居りまして、樣々の質問をうけたり御相談に預つたりして、いやでもそんな方面の事に就いては、一向に知りませぬ存じませぬで推し通す譯には參らないやうな境遇に居りました故に、自ら進んで好んで研究をしやうと思はないでも、自然とせずには居られないやうな事になりまして、終ひにはかう云ふ仕事に就いての興味が段々と加はつて來て、職業には決して貴賤の差別のない事、並に女としては随分適當な面白い仕事であると云ふやうな自覺が天然自然と其中に生じて參りました。

そして婦人が日常致して居りまする朝夕の化粧單なる身じまひも、煮じつめれば一向つまらないどうでもよいと云ふやうな種類の物ではない、立派に獨立した一種の美術であつて、恰もロダンの手になつた藝術品が常凡なる一個の生きた人間の言動よりも、より以上の權威を持つて居るのと同じやうにこゝに不完全なる一の不美人があつて、其不美人が化粧術と云ふ一つの藝術の洗禮をうけて、不美人と云ふ領域より脱出し得る場合が假りにあるとしたならば、化粧術と雖どもロダンの藝術と同じだけの價値も權威もあると云ふ事が出來ます。

私は一口に「女髮結」と云はれて、口が惡達者で、人間が下等で、道樂者で、女の職業の中でも最も卑しめられて居るあの人たちが、毎日油だらけ脱毛だらけの中から、いく多の藝術品を生んで居るか分らない、あれはかくれたる不幸なる藝術家であるといつも人知れず同情の涙を捧げて居るのです。

前號にも申して置きました通り、我々婦人はあらゆる方面に覺醒をせなければなりませぬ、イヤでも覺醒をしなければならぬ時期が今將に到來して居るのです内面的生活を豐かにしなければならぬのは論をまたぬととしても、人はパンのみに生くるのではないですが、パンを離れても又生くるとは出來ません、靈肉合致の豐かなる生活、内面的にも外面的にも充實したる生を味ひたい、其處に人世の意義があり人間としての價値も生じて來るのです、

私が自分の經驗の上から申しますと、婦人が一般に進んで居ない證據が常に其外部に向つて最も明らかに表現されて居るのです衣類や持物は凡て流行のあとを追つて、ズルズルと曳きずられて居るやうな傾が充滿して居ります、髮の結ひ方等は即ち人眞似に過ぎません、白粉や紫や頬紅をぬる化粧術に至つては殆んど化粧品の新聞廣告の丸呑み丸出しでありまして、其人それ自身の日常の生活狀態がいかに浮草的であるかと云ふとを不言の中に語り聞せて居るので御座います、

かうして男子の仲間から虚榮の權化と云はれ、愚者と呼ばれ、泥人形のやうな取扱をうけて夢より夢の生活を繼續して行つて居るのが一般の今日の婦人の狀態であるやうに私は殘念ながら觀察を致して居ります。

「婦人に靈魂があるか」とは古いギリシャの諺であるさうで御座いますが、私も女の一人として常に異性から侮蔑され嘲笑されて居る同性のためには極力味方になりたいとどんなに思つても、誠に遺憾千萬ですが多くの御婦人方には、永い〳〵間の習慣の勢が蛹のやうに心の奥の底へ深くも喰ひ入つて居りまして、男子の寄生虫となつて生息するとを希ふ奴隷根性が容易にぬけ去らないの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

です。自ら進んで自分一個の上に降りかゝつて來た樣々の問題を解決する勇氣もなく、人間として存在して居ると云ふ責任の觀念もなく、夢中に人の妻となり夢中に人の母となつて、所謂醉生夢死の大往生を遂げて終つて、あとに殘つた物は其人の血を別けた子供があると云ふだけのとで、是れでは子子の生活と人間の女の生活と同じ事になつて終ふのです。

私共は今日迄生息し來つた生活の甚だ無意味であつた事を既に自ら悟り知つた以上は、一日も早く新らしい我々が身を寄るに足るべき價値のある社會を建設しなければなりませぬ、新らしい社會を建設して身も心も清々しい新らしい婦人として改めて生れて來るとになるのでありまして、其處には新らしい心と新らしい身をもつた、清淨にして尊嚴にして美にして勇なる婦人の殿堂があり、汚れたる靈や腐れたる肉體をもつた異性の侵略は元より隙見をだにも許さない、磨きたる石の玉垣を幾重にも〳〵圍らして、身をもつて此神聖なる婦人の殿堂を守護し通さればなりませぬ。

單なる女の外形上に於ける「美」と雖どもたゞ男の心をそゝるやうな肉感的の物ではなく、もつと崇高なる婦人の心を體現した意味の物でなければなりませぬ。

男子の愛を惹くために、男子の御機嫌をとるために、男子の耳や目を喜ばしむるためにそれ等の目的のためにのみする化粧ならば石膏細工のやうに白粉をぬり、京人形のやうに紅をぬり、紅い色の襦出し一枚にて事は足ります。

女の化粧をしたり衣類を身につけたりする目的をそんな下等な劣等な簡單な物と希くばして置きたくはないと私は切に思ふのでありまして、これは一朝一夕に企て及ぶべき事ではありませんが、婦人が自個の品性を高雅ならしめる一つの象徴である、外形上に於ける凡ての裝飾服裝等も早晩改良すべき必要があらうと思つて居ります、併しそれは遠い未來のとに屬して居ります故に、私は現在に於ける服裝、結髮、化粧等の巨細に亘つて次號から委しく讀者諸氏の御參考になるべきとを選んで每號掲載をしやうと思つて居ります、

大正四年一月の紙上より改めて御目にかかるとと致しませう、大正三、一一、一六

海老名みや子夫人に示す文

流蘇女

あなたが『新女界』の十一月號にお書きになつた『女子の貞操』の御意見には、私は贊成致しかねます。詳しく論ずると、あなたも面倒でしようが、私もたまりませんから、粗と申します。ただ讀者の中には——世間には、あなたの說く所に承服しないものもあると云ふぐらゐのことが解れば、それでよいと思ひます。

第一に、あなたは、九州の女學校の生徒が修學旅行の途中、男教員に辱められて、後朋輩の生徒に悟られて、自ら毒を飲んで死んだと云ふ出來事に對し、何故彼女は後に於て死ぬるくらゐなら、初め男教員に辱められようとした時に死を決して其身を護らなかつたかとお責めなされるのです。そしてあなたは尙ほ『其邊の所、私共深く研究しなければならないと思ひます』と仰つてゐますが、私はあなたこそ果して深く研究してゐられますか、それを先づ危つかしく思ひます。私に言はせれば、女生徒と男教員とはひそかに思ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

合つてゐた仲であつたかも知れませんし、又其時は辱められたのでなく、女が嬉しく感じたのかも知れません。新聞の傳へることは、其儘に信ずるものぢやありません。そんなことは、あなたのやうな堅いお育ちの方にはお解りになりますまいが、世間にはよくある例です。またさう考へてみるのが、普通の少女の心を穿つたものと思ひます。所で彼女が自殺した譯は、一旦男に感じたものの、朋輩に知られてみると急に恥づかしくなつて、後悔して死ぬる氣になつたものと見えます。其處にもよく少女心の天眞があらはれてゐるぢやありませんか。それを、何故初めに死ぬる覺悟で爭はなかつたかとは、あんまり情ない見方ぢやありまんか。

第二に、あなたは、『代議士のお孃さんが女優になつたり、高等女學校卒業生の中から藝者が出たり、其他新しい女とか云ふものが立派な家庭の中から顯はれて、樣樣の似而非理窟を述べ立て、公公然と勝手な擧動を爲す』とお書きになつたけれども、それにも私には合點の行きかねるところがございます。代議士のお孃さんが女優になるのが何ぜ惡いでしようか。また高等女學校卒業生は、何で藝者になれませんか。藝者になつたつて、いいぢやありませんか。あなたも自分の敎會の爲めに金を集める時には、博奕打を亭主に持つて大岡議長を情夫に持つ藝人呂昇の淨瑠璃を賣り物に慈善演藝會を開くぢやありませんか。日本の敎育は、あなたの卑める藝者になる者までも收容して高等敎育を施すことが出來るほどになつたのですから、寧ろ喜ぶべき現象ぢやありませんか。ここぞ、ちよつと可笑しいのは、あなたは高等女學校位の敎育を大層に思つてゐらつしやるらしいのが何とも不思議に思へます。そして又あなたは新しい女のあらはれた家庭が、どんなであるか、それを果して御存じでゐらつしやるのですか。そんなところにも、あなたの觀察眼の行き届いてゐないもののあることを私は思ふのでございます。

最後に申します。これは最も重大事で、容易に口にしたくないことですが、今は爲方がありません。私があなたの貞操論を讀んでゐるうちにも可笑しくて堪らず、さうして讀んでの後、此書を作るに到つた動機も、實は此重大事に在るのでございます。それは、あなたの生みのお子樣一雄樣の奧樣が、先達て早産なすつたのも、其お後が惡くつて入院なすつたのも、又其お子樣が育たなかつたのもみんな、これはあなたの貶しめられたあの女生徒にも、又あなたにもまさる、忌まはしい行が一雄樣にあつたからだと、當時若奧樣の入院なすつた病院の主任の醫者が申してゐると云ふことを、私は信ず可き方から承つてゐるのでございます。ほんとに驚いた事實ぢやございませんか。私は、それを嘘にしたい。早く醫者の口を噤みたいと思ふ位でございます。しかし之がほんたうの事なら、隱したつて爲方もありません。あなたの方でも、よくよくお査べになつて、事實を確めた上、あなたの『貞操論』を讀む人や、あなたの敎會の人達にも安心を與へられたいものと思ひます。あなたが極近い自分の身の廻りの事をさへ知らずに、他の身の上を論じてゐては、何の權威も信任もないぢやありませんか。

▲親　樣（中里彌之氏述）

▲エーテル觀（福田豐氏述）

▲天主の再臨（宮崎八百吉氏述）

三書共に非賣品で、自己の信仰告白の爲めに、自費出版、知人に配布されたものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

記者の手帳

英國の婦人記者

今より三十餘年前までは、文學者として知られた婦人は極少數で、而かも其少數の人々も隱くれてすると云ふ風があつた。例へばゾマピール夫人の如き、何時も讀書や作文の時に傍に縫物を用意して置き、來客があると、書物や原稿紙の上を、其の縫物でかくしたとのことである。併し今日では第二流の小説家の中に婦人が多數に現はれて來た。日刊、週刊の新聞記者の中にも、婦人が澤山に見えて來たが、彼女等の受持は重に衣服の事、流行の事などに就てゞあるとのことである。

無痛分娩

無痛分娩に就ては、既に九月號で紹介したが其後聞く所によれば、此の方法は、今回獨逸で發明されたものでなく、千八百四十六年(今より六十八年前)に、英國の醫者サア・ジエムス・ヤング・シンプソンが發明したものを、今回獨逸の學者が改善したものであるさうである。シンプソンはコロヽホルムで姙婦を半睡狀態に入らしめたものださうである。

婦人選擧運動に應援する男の團體

近刊の、選擧權年報及び婦人のフースフーによれば英國に婦人の選擧權獲得を目的とする團體が、三十六あつて、其の中四個は男子の團體である。外に尙ほ、萬國婦人の選擧權同盟と云ふのと、婦人選擧權の爲めの男子の萬國同盟と云ふのがある。

婦人の萬國會議

最近伊太利の羅馬にて開會されたる婦人の萬國會議へ出席したる重なる婦人の寫眞を得たので、玆に掲げる。

後列右より左の方へ、ハンセン孃(丁抹)、ウルバン夫人(墺太利)、ゴアード孃(瑞西)、デッキスター夫人(米國)、マッコミック夫人(米國)。後より第二列、マクミラン孃(英國)、フラウストリット(獨逸)、ウキクセル孃(瑞西)フラウ・シユインメル(匈牙利)、ブライゴーデ(白耳義)、ジヤコブス博士(和蘭)。後より第三列、フラウ・リンデマン(獨逸)、フオセツト夫人(英國)、チヤプマン・キヤット夫人(米國)、シユランベルゲー(佛國)、フルゼエルム孃(フインランドの代議士)。前列、坐せるは左英國のコイト夫人、右瑞典ベルゲン孃。

將來の婦人

過去の婦人の理想は、人形であること、花であることであつたが、これからの婦人の理想は力であらればならぬ。又過去の婦人の母性は子を產むと云ふこと丈けに限られて居たが、之れからの婦人は、精神上にも其の母的本能を發揮せんとして居る、社會の改良、政治の改良などに婦人の力を致すのは、母的本能が精神的に働く、第一步である(ウーマンシチーズン)

シユットナー夫人

シユットネル夫人として度々紹介したが、之れはシユットナー夫人と讀むのが本當ださうである。同夫人の寫眞も紹介したが、其

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の二十九歳の時夫人が最も美しかりし時代の寫眞を得たから茲に掲げます。

一年に世界に幾人の子供が生れる

或人の統計に、三千五百萬の赤ン坊が、毎年世界に生るゝとのことである。

候補婦人の名の書き方

米國のオクラホマでは、今同高等法院の書記に婦人も選擧さるゝことなつたが、其の選擧の場合に、候補者に立つ婦人が、例へはジマン・ジョネス夫人である場合には、其のクリスチャン・ネームで、メリー・ジョネスと書き、ジマン・ジョネス夫人と書いてはならぬと云ふことに規定したとのことである。

喪服をつけて平和運動

此の程紐育在住の米國婦人が、各自ソレゾレ自國の喪服をつけて、市中を行軍し、平和の叫びを高くしたと云ふことである。

私生兒の數

内務省の統計によれば、日本の私生兒數は總計十六萬二千となつて居るが木賃宿などへ行て調べて見ると、十人に七人位は無籍であるから、私生兒の數はホントの所を云へば十六萬の何倍になるか知れない。

菊供養

十月二十七日は舊九月九日に當るので、淺草觀音で菊供養があると聞き、同日午後二三の友人とで、淺草へ行て見た。觀音の堂下に菊賣がズラリと並で居て、來る人も來る人も菊を買て觀音に供へ、先きに誰れかの供へたのを買つて歸る。此の買つて歸る菊を陰ぼしにして置いて煎じて飮めば、腦病の藥になると云ふ。夫れは當にならぬが菊供養は實に美しい行事の一つである。

小改良

妾と云ふ字を用ひない樣にしたい何立女學校と續けて書くと、立と女で妾になるから之れは立女と並べて書くことにしたい、と鹿兒島で發行する『報德』に書いてあつた。『生活』に鴨居工學博士は『あて事と越中は向から外れる、頭かくして尻かくさぬ、百日の說法屁一つ、蚤の金玉八つ割、斯かる野卑なる俚諺は改良する事を要する』と書いてあつた。斯かる小改良に意を用ゆることも大切である。

指一本

大阪の高利貸鬼權が死ぬ時に、息子に指一本を示し、何にか云はふとして、云ひ得ずに死んだと云ふ。これ一生己れの樣に慾張り通しても駄目だとの意であらうか、或は又、一生慾張り通せとの意であらうか。

編輯餘錄

▲堺利彥樣より　高野重三氏の『女性中心說』は大變有益な記事だと思ひます、然るに星岡學人は『女性中心說の歷史』を近日中、何かに書くかも知れません、同じものが二つ公けにされればそれだけ讀者の眼にも多くふれる譯だから猶結構だと思つてゐます、尤も學人のは例の抄譯です、おついでの節高野氏に右御傳言を願ます。（十月一日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（編輯者より）「右、女性中心の歷史」は十一月號の「二十世紀」に記載されてあります。

▲廣田兵吉樣より　前略　過日來より當朝鮮に參り二ヶ月間許かりの豫定にて滯在奔走罷り在り候、朝鮮へは昨年七月來鮮せしと此度とにて二回目の遠征に御座候、何か面白く感興に感觸せしもの有之候折は恩ふまゝ御便りいたし度く心がけ居り候（十月二十四日）

（編輯者より）いつも御無沙汰ばかり致して居りまして相濟みません、どうか御地のおもしろい御消息を願ます。

▲〇〇氏より　拜啓　記者樣私は何か內職をいたさなければならないのですが、午後四時頃から夜にかけて自宅で出來る職は御座いませんでせうか、記者樣寫字はどうかと思うて居りますが何處か確實にやらして下さる御方はないものでしやうか、何なりと御座いましたらどうか御世話遊ばして下さいます樣偏へに御願申上ます（十月二十三日姓名在社）

（編輯者）誰方か御用のある方は御願して上げて下さい

▲山田樣より　急に用事が出來て大阪へ來てしまひました、今夜また九州の方へまゐります。（十月二十五日曾根崎にて）

今無事に海を渡つて釜山につきましたが直にまた汽車に乘つてしまひました海は靜かで自由ないゝ旅を致しました（十月二十七日）

ゆふべ無事に當地へまゐりました、こゝにまだ二週間位滯在する樣に成るかもしれませんどうぞ御體御大切にねがひます、いづれのちに又申上ます（十月卅日ハルピンにて）

▲井上すみ子樣より　昨日雨中に旅行として出かけました。文明のおかげで雨中の旅行もさほど困難も感じませんものね。（十一月一日）

▲平澤福子樣より　おなつかしの姉樣その後おみあしのお痛みは如何遊ばして御案じ申上げて居ります、私の耳もやう〳〵全快になりました、實は十一月は拙宅にて蛙聲會を開きたいとおもつて居りましたら、岩崎樣のお宅でと云ふお話で御座いました。それに私の母大病の爲め二三日中に一寸歸國致します雜誌が益々立派になるので眞實に嬉しう御座います、どうぞ御體を御大切に致して下さい、今月號をもう三部御送り下さい。（十一月二日）

（編輯者より）親のある時は一層無い方が氣樂でよからうと思はれる程、親の病氣が氣になりました、さていよ〳〵亡くなつて見ると月並の樣ですが事々に親が居たらと思はぬ事はありません、どうか出來る限り大事に仕へかつ甘へて御おきなさい。

▲藤生貞子樣より　雜誌が其都度進步し向上して行くので少なからず驚かされます、新眞婦人方の御精神が社會に知れてくるのを嬉しくおもひますと同時に貴女の御腕前には敬服します、決してフラッタリングで申すのではありません、時に文子さん私の生徒の一人に一寸變り物があつて是非貴女に御目にかゝりたいと申して居りますが、近頃讀賣へ掲載された與謝野さんの遺蹟につき頗ぶる珍な評をかきましたのが、あまり愉快に讀まれますので貴紙に出して頂きたいのです、或は筆戰になつて一寸さわぐかも知れません、兎に角私も久々にて御目にかゝりたいと思ひますので老人に免じ來る月曜日の夜七時頃から二三人の御方々御誘被下拙宅に御入來被下ませんか、おせんとお芋で氣焔萬丈は如何にや御待ち申上候（十月卅一日）

（編者より）折角の御厚意でしたが私は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の頃一切外出出來ませんので、止むを得ず小口さんの方へ御知らせして御願しましたが同氏も折悪しく差支へのある日とて失禮をしました。又原稿は、大變おもしろく殊にかの「遺書」を御讀みになつた讀者には興味深きものと存じましたが遺憾ながら御斷り申上ましたのは事情止むを得ぬ事と御許し被下ませ。

▲島田一郎様より　昨日は新眞婦人た御寄送被下難有御禮申上候、どなたの記事も皆おもしろく拜見仕り候、とりわけ文子夫人の「抱月夫人に與ふる書」は我が意を得たるものにて近來の快事と存じ候、又誰方の筆かは存じ不申候へ共「婦人論入ッ當り」は小生の毎號愛讀の文字にて本號の如きも特に眼を大にして反讀申候「日本婦人史蹟」の御企ても嶄新らしく珍重〱我等もなにか寄稿いたすべく候、とにかく「新眞婦人」の努力は決して徒爾なるまじくと將來の發展を偏に希望仕り居候、拙稿「八百屋お七」などは恥づかしくてとても用には立つまじくと只々恐縮の外なく候、二三日前三越の人形展覽會にて「芝居と史實」の著者三田村鳶魚君に出逢ひ申候につき貴下の八百屋お七に多少の修正を施して「新眞婦人」に掲載する旨話おき候、前にも申上候通り「八百屋お七」の記事は大體同じ筋の事を三田村氏が書き居らるゝため小生はあまり興味を感ぜざる爲め骨子は鳶魚氏と相同じものになりたる次第に候、然し今後は誰人も手をつけざる小生獨特の研究になるもの許りを寄稿申すべく候。(十一月一日)

▲伊藤朝子様より　都合上表記へ移轉いたしました、こんどは社へも近く私の都合もよいので暫くこゝに落ちつきたいと思つて居ります、近來は讀書もせず訪問も致しませんので全く頭がからつぼになつて居ます、抱月夫人に與へられたあの文章は全く貴女の御性格がよくあらはれて居るやうに思ひます(十一月十日)(伊藤様の新宅は四ッ谷坂町八〇です)

▲松尾大作様より　その後は一向御無沙汰、失禮のみ致して居りました。奥さまはじめ、先生方には御變りも厶いませんか。それから、雜誌毎度有難う厶います。厚く御禮申上げます。

昨日、鐵道便で林檎一箱、御送り申し上げましたから、どうぞ御受納下さいませ、甚だ申上げ兼ねますが、その内二十ばかり、遲美さんへも差上げて頂き度う厶います。遲美さまが、お宅へ遊びにいらしつた時でよろしう厶いますから。

私は早く上京致し度く思うて居りますが、學資金の方が捗々しく纏らず、まだ斯うして愚圖々々致して居ります、孰れ不遠上京致しますから、相不變何分よろしくお願ひ致します。(十一月三日)

(編者より)かうした送りものは一方ならぬ面倒なものですのに、見事な林檎をおびたゞしくお送り下さつた御厚意を深く御禮申上ます、いつも手紙を頂くばかりでつひ多忙の爲め失禮御ぶさたして居ります。

▲高安月郊先生より　誠に暫おめにかゝりませんでした其後は何かお出來になりましたか此方バルザックの一生殊に異性との關係にダンテより深酷な人生の悲喜劇を認めましたからくはしく紹介しました其作の「公爵夫人の秘密」と合はせて近日公にしますから御覽下さい「生の悦」はゾラの中で哲學的の味のあるもの「三傑作」「ドクトル、パスカル」などと共に指を折るべきものですれ來月號へ寄稿の事私四五日前から沈默がちの唇に腫物が出來切るか否かといふ場合です此上切られたら倘吃之又吃になり過ぎますからこのまゝですましたいと思つて居ますがどちらにしても直りましたら何か御送りしませう。

秋の夕日圓窓に灯ともす頃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年號について

新年號を賑はす爲めには、いろ〳〵計畫いたして居りますが、既に御承諾を得て書いて頂いた玉稿には薄井秀一先生の『女子の潛在能力と婦德』其の他、山口孤劍先生の『ユーゴー作愛』と大塚小一郞先生の『婦人問題に對する吾人の態度』などが御座いますが、會員愛讀者先輩同志の方々にも盛んに感想文、小品創作其の他實用向有益なる記事の御寄稿を願ひたいと存じます。そして昨年も御願いたしました樣に名刺交換をして、年賀狀の代りに友人知人に配布寄送して本誌の擴張を計り、私どもの主旨を一人にでも多く了解させる事に努力して下さる事を切に希望いたします。名刺交換と知人に對する挨拶かた〴〵の御感想をはがきでもよろしいから十二月十二日までにどうか申込んで下さい

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲每號新刊小說を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

新眞婦人定價表（每月一回一日發行）

一冊（郵稅共）拾壹錢

半年分（郵稅共前金）六拾錢

一年分（郵稅共前金）壹圓拾錢

御注意

●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず『盡』の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年十一月廿八日印刷納本
大正三年十二月一日發行

發行兼編輯人及印刷人 本鄕區駒込林町二〇六番地 西川文子

印刷所 本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込林町二百六番地 新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人社代理部特賣品

理容水白粉	純白、淡紅、正價五十錢
エラメル化粧	正價 大五拾錢 特大七拾錢
理容煉白粉	正價三十五錢
理容固形糠	一打入十五錢
ピノー化粧水	正價二十五錢
ピノー水白粉	正價二十五錢
ドルセーアン止ケリーム	正價二十錢
ドルセー皮頰紅	正價八十錢
コールドクリーム各種	自二十錢七八十錢以上
化粧用石鹼各種	自二十錢六拾錢位
美顔用品各種	
香油香水各種	
粉白粉各種	二十五錢ヨリ壹圓位迄
萬能キハツ	一ポンド入、二十五錢

右各品共美容研究會に於て品質の優良なる事を保證いたし價格は正價時價より五分或は一割乃至一割五分引を以つて高需に應じ可申御注文の栄をえたく此段廣告仕候也

芝公園十の一號十一

代理部事務取扱

小口みち

（市内は御一報次第販賣員をして御用御伺はせ可申候也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悪魔のあばれるのはこれからです

美顔術御婦人化粧専門　遠藤波津子

世の中に何がイヤと申して、お若い奥様や御結婚前の嬢様方にニキビが出來ます事で、實に憎らしい悪魔で御座います、然もこの悪魔奴は夏の末から秋にかけて時候がよろしくなり皆様の御健康が増進致し從つてお顔の脂肪も多くなる今頃、最も其暴威を逞ふ致ます、年中では御座いますが特に毎年此頃の期節になりますと各地の皆様から、遠藤何か良方法はなきや何か薬を發見せずや、など澤山の御質問に接します、又自分も職業柄是非共研究をいたす責任と必要とが御座いますので日夜苦心惨憺研究に實驗を加へて居りました所、今回外國の或會社で新しく發表になつたニキビとりのクリームが非常に良好の由をきゝ早速試驗致しました所意外に効能著しいので大喜びをいたし精細に實質を研究し、日本人に適する樣御化粧に障らぬ樣後の黒くならぬ樣一大改良を差加へお待兼の皆樣に御答へいたす事に致しました、吹出物田蟲ナマズ赤鼻にもよろしゆ御座います（ニキビとり理容クリーム金五十錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

粧らず眞からあかぬけしたのがほんとの美人

美顔術御婦人化粧専門　遠藤波津子

たとひ色がお黒くつても何處となくスツキリとして垢抜けの致たのは誠に人を引付ろ力がありまして先眞の美人と申す事が出來ます、これには第一日々の洗料から注意して撰ぶ必要が御座います、石鹸なども悪くは御座いませんが、近頃學者の八釜敷く御吹聴遊ばす純良な米糠が私共の永年の實驗から行きましても最も日本人には適當な美顔美身料でお互に米の御飯を頂いてゐろ以上是に敵ふ洗料は御座いません、所で嗜ある方々が御困りの樣に絶體に混物のない無砂ヌカを得ます事は非常に困難で殆ど不可能の事で御座います、そこで私共では十餘年前より田舍に専屬の水車を設け其所から理想的の純粋なヌカを得まして漸く高貴の御料のみを満して居ましたが今回一般にも是非ヌカの眞價を知らしめ度工場を増設いたし品質にも一大改良を加へ殺蟲防腐の上地方へも送れます樣新案固形體となし安くお分致ます是非一度御試し願ます（理容固形ヌカ一打入金十五錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

昨日迄の乱暴[illegible]

美顔術御婦人化粧専門　遠藤波津子

何と申してもお顔は女の最も大切な所で誰人でも人一倍美しく綺麗に遊す爲にお磨きになりますのは決して虚榮でもお洒落でもなく御婦人としての嗜で御座います、所で御注意申上げ度のは皆樣は其大切なお顔を朝夕何でお洗ですか大抵の方は硬い手拭やタオルでゴシ／＼おこすりになります、果して其が美顔の目的に叶ひませうか？違ひます、其では返つて柔い皮膚を荒す一方で、白粉の乘らなくなるのも吹出物など出來ろのも大概其が爲で御座います、デハ何が良かと申すと歐米でフエスタウエルと申すお顔専門のが一番で、本邦では私共が實驗の末各上流の御家庭に御進め致て御好評を得ました理容手拭に優ろ品は御座いません、理容手拭はガーゼ材を手拭樣に織り最も女の皮膚に適合する樣精製された逸品で一度御使用遊せば必ず昨日迄どうしてあんな硬い物で大切なお顔を亂暴に取扱つたかゝ恐ろしくおなりです。（理容手拭二枚折一本金十二錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

(長電話番町三〇九八)

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

脳神經精神病

東京赤坂 帝國脳病院

青山脳病院

院長ドクトルメヂチーネ齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電芝二七四五

電芝二六六五

電芝三四〇六

皮膚病一切 たむしの妙薬

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目

本舗 橋本進世堂

ね小便 近小べん

治効確認禮状感謝状日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施薬規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す薬品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町

電話本所三三四二番

東京新療院

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

勞働及産業

一冊 金十二錢　半年分 七十錢 ‖ 第二號 十二月一日發行 ‖ 一年分一圓卅錢（すべて前金）

■日本勞働者の長所短所……法學士 鈴木文治

■世界の大亂と國民の覺悟…法學博士 堀江歸一

■生活の改善と貯金及保險…貯金局長 下村宏

■國民の自助的活動力……法學博士 添田壽一

□勞働問題と科學……東每記者 古川仲太郎

□名士曰く……［高田畊安氏、大町桂月氏、板垣退助氏、白瀨矗氏］

□最近勞働界記錄……坂本正雄

時事と新智識……青島、南洋、發明、刑事、東京驛の話

□天道と人道……辯護士 松尾清次郎

□友愛會報告□□繪□寫眞

□自由文壇（文詩歌俳）

▼懸賞文募集

『本年の回想及明年の希望』

『右〆切十二月十日限』

□勞働及産業編輯局宛の事

□其他寄稿歡迎□〆切十日

■日本將來の婦人問題……法農博士 新渡戸稻造

■規律ある勞働と産業の發達 商工局長 岡實

■日本の農業と社會政策……高商教授 津村秀松

■勞働問題の現在及將來……早大教授 安部磯雄

發行所 東京市芝區三田四國町 友愛會本部

振替東京 三一五七

世界之日本

一冊十五錢 郵税一錢五厘

拾貳月號

一年分一圓五十錢 税共

若し解散になつたならば

(1)我黨の天下……政友會 小久保喜七
(2)國民黨分裂して非政友合同成らん……中正會 菊池武德
(3)中正會潰滅伊太利黨の出現……國民黨 相島勘次郎
(4)天下の形勢悉く我黨に可なり……同志會 富田幸次郎

電燈問題解剖號

□電燈問題の源因……司法大臣 尾崎行雄
□電燈問題の歸結……大藏大臣 若槻禮次郎
□電燈問題の正面觀……東京市長 阪谷芳郎
□電燈市營と東京市政……前助役 原田十衞
□統一市營の外はなし……某前農相
□過大なる我國の電氣事業……大藏次官 濱口勇幸
□電燈問題の實相を曝露す……世界之日本社長 橋本徹馬
□電燈問題の表裏……代議士 村松恒一郎
□名譽も生命も惜まぬ人ありや……代議士 森久保作藏
□電燈問題と市會議員……市會議員 角田眞平
□電燈買收の價格に就て……早大教授 安部磯雄
□市の自由計畫を妨ぐるを好まず……内務次官 下岡忠治
□電燈論雜説……前助役 田川大吉郎
□電氣事業法第六條の解釋に就て……遞信省電氣局長 棟居喜九馬
□阪谷市長論……代議士 黑須龍太郎

三回忌になつた下山君……大河生
Kさんに送る手紙……日向きむ
錢湯の趣味……村島歸之
雲水放浪の三日間……橋本徹馬
晩秋の武藏野……迦陵頻迦

慶應義塾擬國會……霹靂火
行商(歌)……村地柳三
秋風の曲(歌)……打田紅雨
蠶の虫(歌)……小口みち子
椎のしげみ(歌)……若浦琴子

唾棄すべき宗教界の弊風(二)

世界之日本社長 橋本徹馬

發行所 東京市神田區仲猿樂町十七 世界之日本社 電話本局五二一四 振替東京二六八六

半年間に十二版を重ねたる

比較研究
實驗批判

心身修養療法

全一冊正價金七拾錢　本月中特價六拾錢

本書は本會長檜山鐵心先生が稟賦の特性と兩度の水行斷食と多年の實驗とにより
て得たる處の完全なる療養書なり岡田式藤田式の長所短所を知り得るのみにても
一讀の價値あり若し本書記載の方法を實行する時は體質氣質性相の改造を來し疾
病を根治し活動の元氣を增進することを得べし

東京麹町區土手三番町十七番地

發行所　研精會

振替東京貳八五九八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新井石禪老師著（「禪學文庫」第四編）

修道禪話

新井石禪老師は學に於て德に於て筆に於て舌に於て現代禪門第一流の人なり今や世俗の往往にして野狐禪に滿足し邪禪に墮在するもの尠からざるを見て慈心到底默止するに堪へず玆に活禪談を試て修道處世の南針を指示す釋尊一字不說の妙諦達磨西來の眞意こゝに於てか始めて了了明明

總振假名附
定價一圓
郵稅八錢

學習院教授
帝國大學講師　鈴木大拙先生譯

神智と神愛

菊判四百五十頁
總クロース箱入
定價一圓五十錢
郵稅十一錢

此書はスエデンボルグ氏が特得の人生觀を理論的に述べたるものにして宇宙の本源は愛なり此の愛よりして智出づ智と愛との和合を用となす用は即ち造化の大功なり人生の目的は此用を萬物本有の順序に遵ひて遂ぐるに在る所以を闡明す甚深の所論識者必讀の書

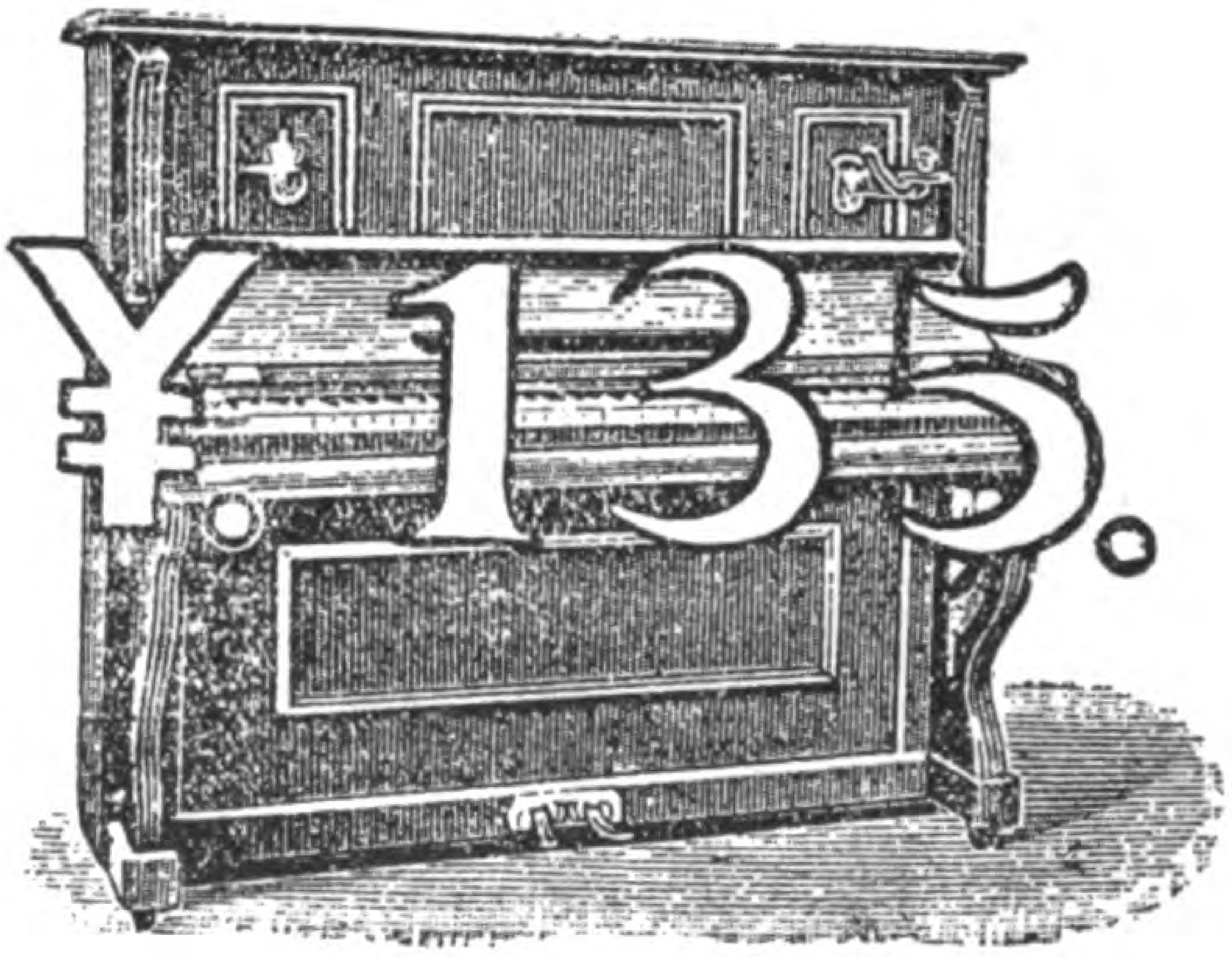
東京小石川區原町　貯東京一六八六　丙午出版社

東京小石川原町　貯東京一三五三　雜聲堂

■特價百卅五圓■

お座敷ピアノの發明

豫約提供



愛孃「お母さんはお琴や三味線がお好きですけれども、ピアノはモット良くつてよ、先生もピアノは高尚で、優雅で將來樂器はピアノになるとおつしあいました、それに完全な樂譜があるからお琴よりも覺え易くつて稽古も樂で、獨習も出來ます、私ピアノな欲しいわ……。」令息「僕もピアノが好きさ、お友達の處にも大概あるよ……。」

此のお子さん方の御要求に應ぜんため、今度發明しました、其名もゆかしき我「ホーム、ピアノ」は容積が小さくつて、六疊間に相當し、價格も非常に低廉ですから、日本の御家庭には誂向であります、それに音色も音量も亦外裝も理想的に出來て居りますから、實物御覽の上期限の盡きぬ内に是非御申込みな願升。

■豫約期限　大正三年十二月廿五日限

■豫約臺數　五百臺

■明細書　御申越次第送呈

東京銀座　松本樂器合資會社　電話京橋二二九八

新しい聖誕節贈品！

此年はライオン子供歯磨に致しましよう。
子供が喜んで使ひますから。
大人の方にはライオン石鹸を上げましよう。
ライオン石鹸には、化粧用、浴場用、洗濯用とあります。

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年十一月二十八日印刷納本
大正三年十二月一日發行（毎月一回發行）
定價金拾錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA